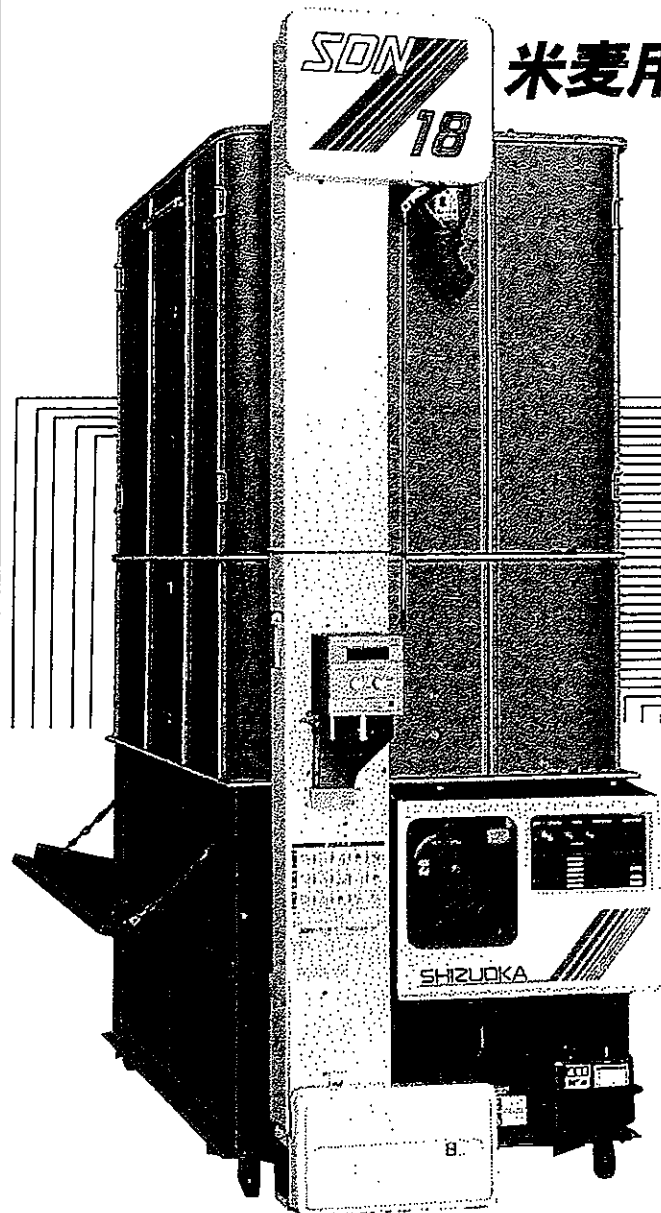


シヅカドライ ナイス

# SDN

16  
18  
20



## 米麦用循環型乾燥機

### ■取扱説明書

◆安全鑑定適合番号

- SDN-16 15017
- SDN-18 15018
- SDN-20 15019

## はじめに

このたび **ジツオカ**ドライ ナイス をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございました。

この乾燥機は、少しでも使う人の負担を少なくするため取り扱いも簡単に、また故障も少ないように設計、製作されております。正しい取り扱い方で最高の性能を発揮して頂くため、この「取扱説明書」には、正しい使い方と注意事項がくわしく書いてあります。お使いになる前に必ずお読みください。

この乾燥機が最高の性能を発揮するためには、穀物の性状や作業環境が整っていることが条件になっています。

しかし、実際の作業条件は地域によって異なりますし、また、年によって穀物の出来、不出来もあります。どんな時にも良い仕上りの米、麦になるよう、この「取扱説明書」を良くお読み頂き、この機械の特性を生かして合理的な作業を行ってください。

なお、ご不明の点がございましたら、ご購入先あるいは弊社の下記支店、営業所又は本社(営業部・営農推進課)にお問い合せください。

本社	〒437	袋井市山名町4-1	☎袋井	井(0538)42-3114	FAX(0538)43-3547
札幌営業所	〒065	札幌市東区東苗穂4条3丁目4番12号	☎札幌	機(011)781-2234	FAX(011)781-1886
秋田営業所	〒010	秋田市泉登木101(田村ビル105号)	☎秋田	田(0188)23-9476	FAX(0188)65-1942
仙台営業所	〒989-61	古川市稲葉字亀ノ子50-1	☎古川	川(0229)23-7210	FAX(0229)24-1679
新潟営業所	〒950	新潟市姥ヶ山1丁目5番30号	☎新潟	潟(025)287-1110	FAX(025)287-1108
関東支店 (栃木SC)	〒302	取手市桑原町桑原1424-1	☎竜ヶ崎	崎(0297)73-3530	FAX(0297)73-3553
中部営業所	〒320	宇都宮市東築瀬町1丁目39-4	☎宇都宮	宮(0286)37-3055	FAX(0286)35-5720
北陸営業所	〒437	袋井市高尾2630	☎袋井	井(0538)43-2251	FAX(0538)43-2250
大阪営業所	〒920-03	金沢市神野町10-1-1	☎金沢	沢(0762)49-6177	FAX(0762)49-6067
広島営業所	〒661	兵庫県尼崎市武庫之荘東2丁目10-8	☎大阪	阪(06)432-7890	FAX(06)432-7471
四国営業所	〒731-01	広島市安佐南区八木2丁目18番11号	☎広島	島(082)873-5626	FAX(082)873-6447
九州営業所	〒765	善通寺市与北町644-4	☎善通寺	寺(0877)62-0724	FAX(0877)62-0806
	〒830	久留米市野中町1332	☎久留米	米(0942)32-4495	FAX(0942)35-2434

# も く じ

	ページ
1. 主要諸元	2
2. 全体図と各部のなまえ	3
3. 運転前の準備と確認	4
●電気●燃料●送風機●設置場所●試運転	
4. 張込作業	8
5. 乾燥作業	10
6. 排出作業	13
7. 火災予防上の注意	14
●安全チェック	
8. 保守と点検	16
●手入れ箇所と手入れ法	
9. シーズン前の運転準備	19
●Vベルトの寸法と掛け方●プーリー寸法●バーナーの点検	
10. 便利な別売部品(オプション)	22
11. 故障と対策	24
●O・Kシグナルが点灯する場合24ページ	
●O・Kシグナルが点灯しない場合25・26・27・28ページ	
12. 各部の接続と定格	29
●各中継コード●各モーター容量●ヒューズ定格●サーマルリレー設定値	
13. 据付寸法図	30
●機体寸法	
■安全に作業をおこなうために	31
■保証書・修理履歴控・有料点検履歴控	32
部品の供給年限について	

# 1. 主要諸元

農業機械公正取引協議会規約による。

型 式		SDN-16c5	SDN-18c5	SDN-20c5
区 分				
穀物の種類と処理量	粳 (kg)560kg/m <sup>2</sup>	380(250)~1,600	380(250)~1,800	380(250)~1,950
	小麦(kg)680kg/m <sup>2</sup>	460(300)~1,940	460(300)~2,180	460(300)~2,370
機体寸法	全 長(mm)	2,630(本体のみ)		
	全 幅(mm)	1,140		
	全 高(mm)	2,850	3,030	3,170
質 量 (重 量)(kg)		510	520	530
送風機	型 式	FM-480		
	形 式	軸流式(吸引)		
	常用回転数(r.p.m)	1,700		
火 炉	型 式	N2-SDN		
	形 式	ガンタイプ		
	点 火 方 式	自動放電点火		
	燃 焼 量 (ℓ/時)	0.3~3.2		
燃 料	使 用 燃 料	JIS 1号灯油		
	タンク容量(ℓ)	40(本体内容)		
所 要 動 力	定 格 電 圧(V)	単相200V・三相200V		
	循 環 (KW)	単相200V 0.06		
	送 風 機 (KW)	単相200V 0.75 三相 0.75		
	搬 送 系 (KW)	単相200V 0.65 三相 0.65		
	排 塵 機 (KW)	単相200V 0.06		
	水 分 計 (KW)	単相200V 0.045		
	そ の 他 (KW)	0.1		
力	排出スロワー(KW)	単相・三相200V 0.4 (別売)		
	最大同時使用電力(KW)	1.735		
性 能	張 込 時 間(分)	粳 28 小麦 39	粳 31 小麦 44	粳 34 小麦 48
	排 出 時 間(分)	粳 33 小麦 33	粳 36 小麦 36	粳 39 小麦 39
	毎時乾減率(%/時)	粳・小麦 0.6~0.9		
諸 装 置	安 全 装 置	●サーマルリレー●サーモスタット●粳づまりセンサー●炎センサー●ヒューズ ●満量センサー●圧力スイッチ(バーナー部)●タイマー●風圧スイッチ●消火器		
	運 転 制 御 方 式	自動温度制御(サーミスター検知によるON-OFF制御)		
	そ の 他 別 売 部 品	●排出スロワー●前張込装置●搬送機 ●昇降機ホッパー●その他(P-22、23ページ参照)		
安全鑑定適合番号		15017	15018	15019

※超最少収容量の(250kg)では、乾燥時注意が必要です。(11ページ)

※張込時間は粳水分24%、小麦水分30%のときのものです。

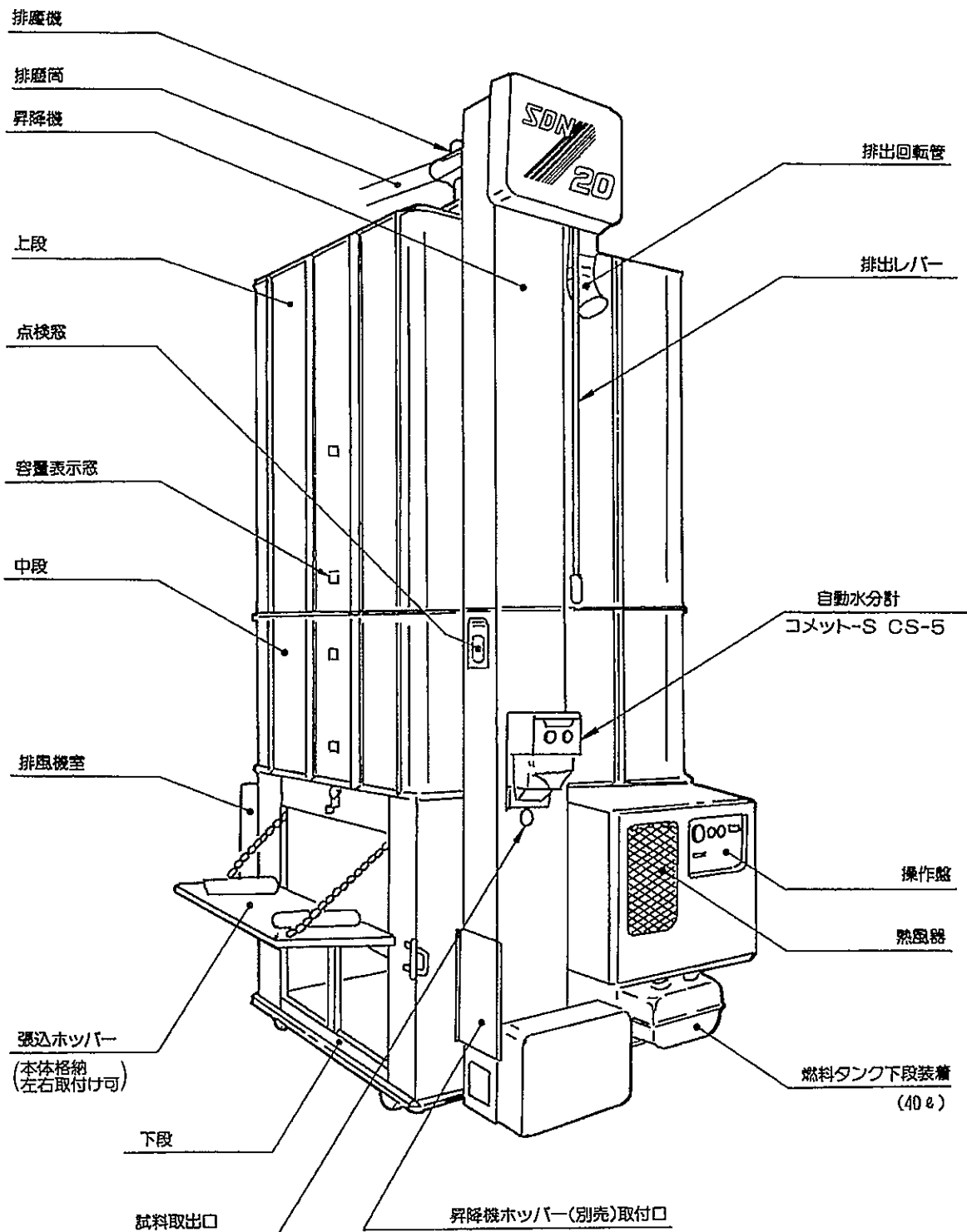
※排出時間は粳水分14.5%、小麦水分12.5%のときのものです。

※乾減率は粳の場合24%のものを14%まで乾燥したときのもの、小麦の場合30%のものを12.5%まで乾燥したときのものです。

※電気契約は三相200V 2kW以上、単相200V 20A以上

# 2.全体図と各部のなまえ

図-1



# 3. 運転前の準備と確認

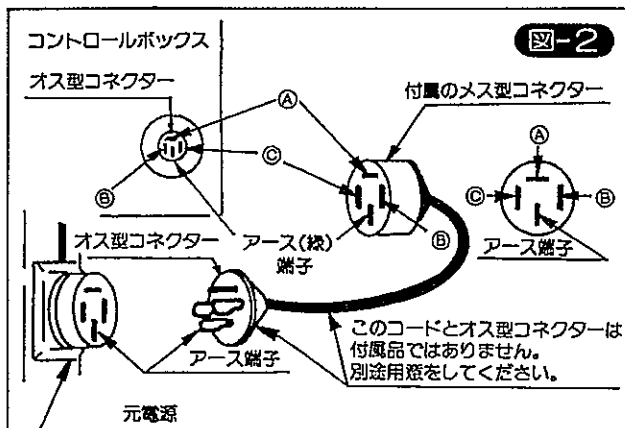
## (1) 乾燥機設置場所の点検

- ❶ 乾燥機は壁から最低1 m以上間をあけてください。
- ❷ 外部からの風の吹き込みは、乾燥性能を悪くしますので、強い風の日は、直接乾燥機(特に熱風器側)に風が当たらないように窓を閉めるか、風よけをおいてください。
- ❸ 乾燥機を複数並べて使用する場合は、乾燥機と乾燥機との間は、最低50cm以上あけてください。
- ❹ 火災に関する設置場所の注意事項は、14ページの「火災予防上の注意」の項をご参照ください。

## (2) 電気関係

### ① 電源の結線法

- ❶ 元電源のスイッチを切って作業をしてください。
- ❷ 元電源のヒューズ切れ、ネジ部の緩み、変色を確認してください。
- ❸ 電源コンセントのアース端子位置及びアース線を確認してください。
- ❹ 乾燥機までのコードに傷や割れがないか確認してください。



※オス型コネクタの③には赤線、④には黒線、⑤には白線が接続されています。

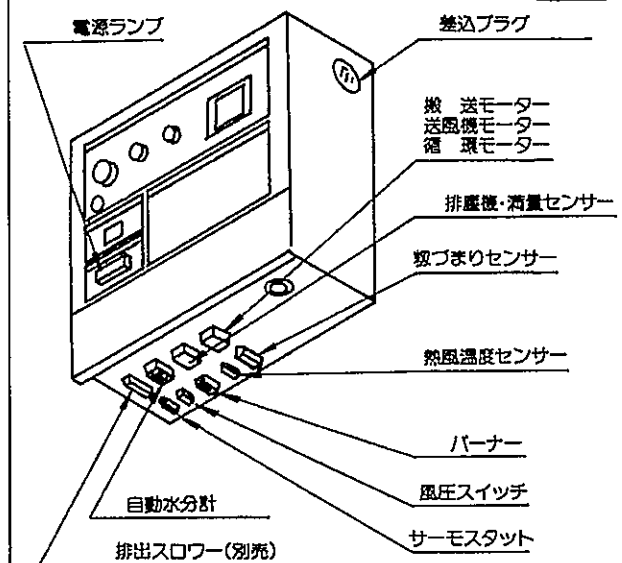
※電源コードは2.0mm<sup>2</sup>以上を使用してください。

### ② プラグ・コネクタ接続の確認

- ❶ 各差込プラグ・コネクタが、所定の場所にきちんと差し込まれていることを確認してください。
- ❷ 電源コードを結線し、電源スイッチを入れてください。

### 差込プラグ・コネクタの接続口

図-3



三相の場合=「電源ランプ」左右点灯が正常

単相の場合=「電源ランプ」右側のみ点灯が正常

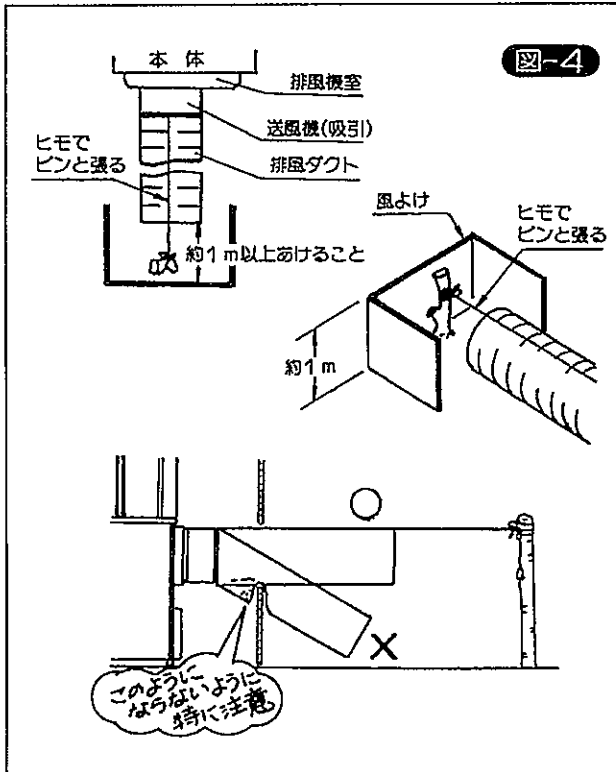
注1. アースは必ずとってください。完全にアースがとれていないと誤動作の原因となります。

2. 三相の場合は電源ランプの左右の明るさが違うときは、欠相又は接触不良が考えられますので、点検してください。

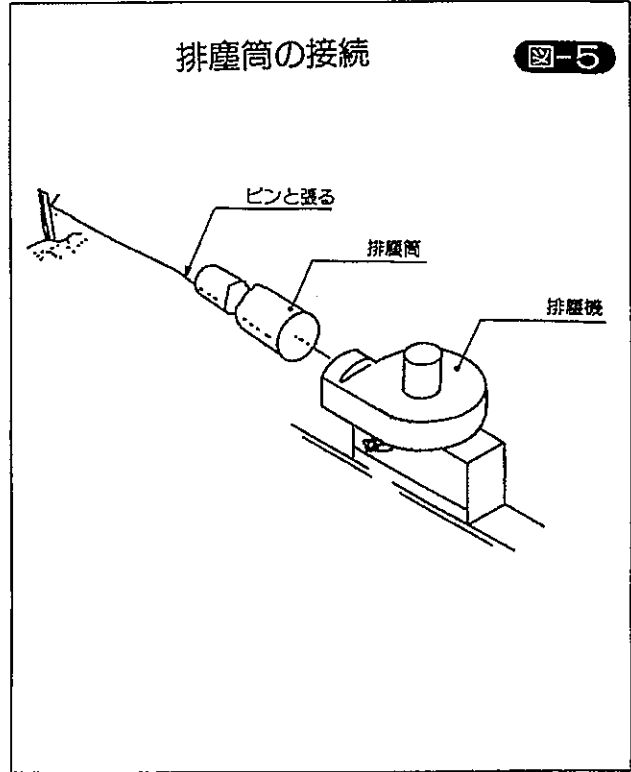
3. 「O・Kシグナル」が点灯したときは24ページを参照して調べてください。

### (3)送風機(吸引)・排塵機関係

- ①排風ダクトを通す孔は充分大きく開けてください。
- ②逆風がダクトに吹き込むような場合は、「風よけ」を作ってください。



- ③排塵筒が途中で折れ曲ると、ホコリが出なくなるります。排塵筒は、斜め下向きにヒモでピンと張ってください。

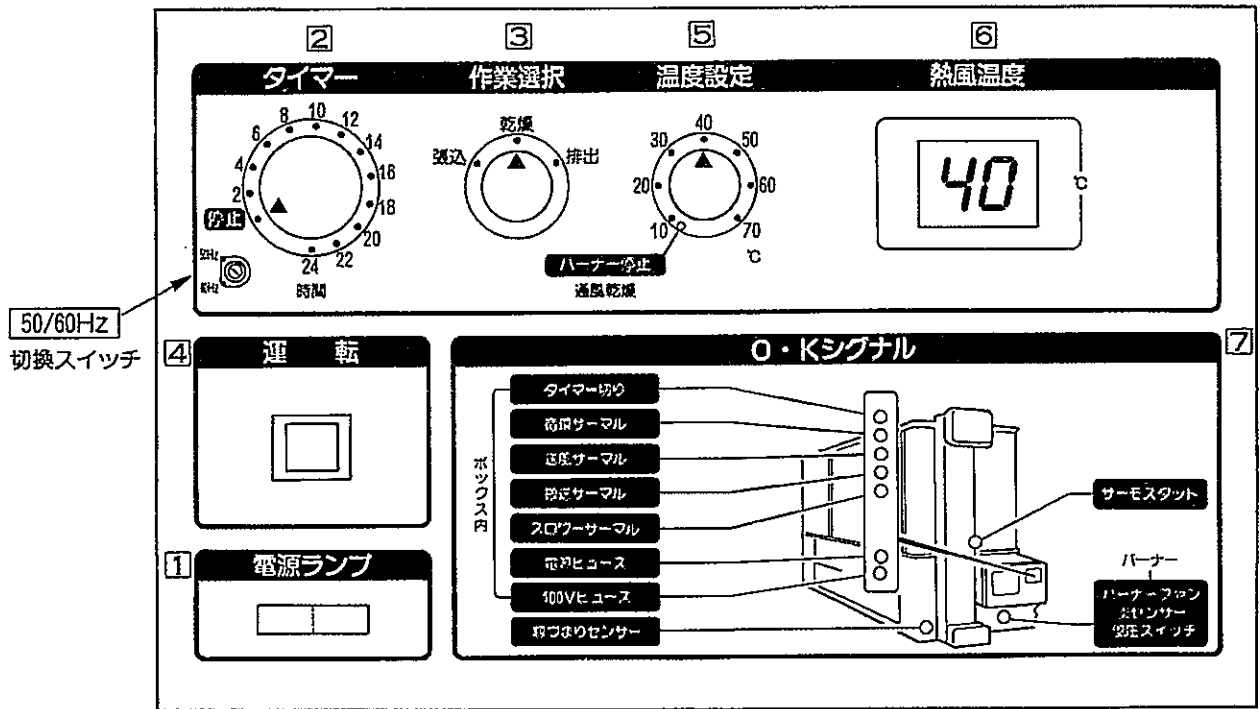


- ダクトは、まっすぐにし先端がバタバタしないようヒモで結んでください。
- 塩ビパイプ又は、鋼鉄製の管を使用する場合は、内径130~150ミリのものとし、曲りの部分はできるだけ少なくしてください。やむを得ず曲げる場合は45度以内で1ヶ所としてください。
- 逆風の吹き込みや、ダクトの折れ曲りがあると、吸引風量が減り、乾燥性能の低下やカーボン発生の原因となります。また、風圧スイッチが動いて、点火できないことがありますので注意してください。

### (4)燃料関係

- ①燃料タンクにJIS 1号灯油(白灯油)を給油し、パイプの油もれ、ナットのゆるみを点検してください。
- ②燃料は良質のJIS 1号灯油(白灯油)を使用し、乾燥途中で燃料切れのないようにしてください。燃料切れはポンプの空打ち等、故障の原因となります。  
ガソリン・軽油・不良灯油(変質灯油・不純灯油)は絶対に使用しないでください。異臭米、カーボン(すす)発生の原因になります。
- ③燃料を補給する時は、必ず機械を停止してから行ってください。

- 燃料は毎年新しいJIS 1号灯油(白灯油)を使用してください。昨年の灯油は使用しないでください。古い灯油へつぎたして使用すると水やゴミなどで失火等燃焼不良の原因となります。
- 軽油等灯油以外の燃料を使用すると、カーボン(すす)付着、異臭米の原因となりますので絶対にさけてください。



# 機能説明

## ①電源ランプ

元電源を入れると点灯します。

## ②タイマー

50/60Hz切換スイッチは使用地域に合わせてあります。

## ③作業選択

作業内容によって選択をします。

- ①張込…………… 穀(麦)を乾燥機に入れる。
- ②乾燥…………… 穀(麦)を乾燥する。
- ③排出…………… 穀(麦)を乾燥機から出す。

### ■ 作業選択 ツマミ操作上の注意

運転ボタンを押したあとで、作業選択ツマミをまわさないでください。

## ④運転

乾燥機を起動させます。

作業別に次のモーターが作動します。

表-1

作業選択	モーター	搬送	排塵	循環	送風
張込		○	○	×	×
乾燥		○	○	○	○
排出		○	○	○	×

## ⑤温度設定(乾燥運転)

乾燥温度の設定をする。

- 設定温度は11ページの温度表に従ってください。
- パーナー停止……風だけの乾燥になります。

(注)外気温度より低い値に設定しますと運転中に異常表示になります。(25ページ…HHの点滅の項参照)

## ⑥熱風温度(乾燥運転)

乾燥機内温度を表示します。

## ⑦O・Kシグナル

乾燥機の状態をモニター表示します。(24ページ参照)



# 試運転動作 (穀物の入っていない状態)

	手 順	確 認 事 項	チエック	処 置
準 備	①電源用プラグを差し込む	●電源ランプ点灯(三相は左右同じ明るさが正常) ●排出レバーを「張込・乾燥」にする。		
張 込 作 業	①タイマーを右にまわす ②作業選択ツマミを「張込」にする ③「運転」ボタンを押す ④タイマーを「停止」にする	●搬送・排塵機の名モーター作動 昇降機の回転方向確認 〔三相200Vで昇降機バケットベルトが逆転の場合は、電源コードのコネクター部で、アース線以外のどれか2線を入れ換えて直してください。〕 ●全停止 (4ページ図-2)		
乾 燥 作 業	①タイマーを右にまわす ②作業選択ツマミを「乾燥」にする ③温度設定ツマミを40℃にする ④「運転」ボタンを押す ⑤コメットーSの電源を入れる ⑥水分測定精度をチェックする ⑦タイマーを「停止」にする	●搬送・循環・送風・排塵機の名モーター作動 ●バーナー着火 〈注〉①一度で点火しなかった場合にはタイマーを停止にし、もう一度①～④を繰り返してください。 ②穀物が入っていないときは温度が上がらなかつたり燃焼が不安定の場合がありますが異常ではありません。 ●「電源」と「自動」の赤ランプ点灯 ●電極が5回往復動作するのを確認 ●空運転のため「L」を表示します。 ●5回測定が終ると火が消えることを確認 ●5分後に本機が停止することを確認 ●自動ランプが消える。 (詳細は別冊「自動水分計取扱説明書」を参照) ●「コメットパック」(当社の別売チェック米)で水分測定精度をチェックする。 ●全停止		
排 出 作 業	①タイマーを右にまわす ②作業選択ツマミを「排出」にする ③「運転」ボタンを押す ④タイマーを「停止」にする	●搬送・循環・排塵機の名モーター作動 ●排出スロースイッチ「ON」でスロー作動を確認(右回転が正常)する。 〈注〉スロースイッチは常時「ON」にしてください。 ●全停止		

※毎年お使いになる前にこの手順で確認してください。

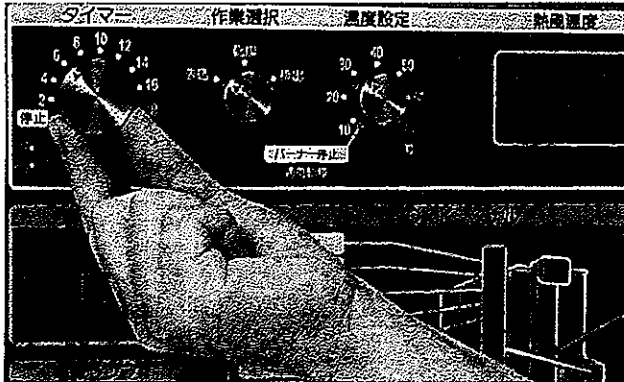
# 4.張込作業

(排出レバーが「張込・乾燥」位置であるか確認してください。)

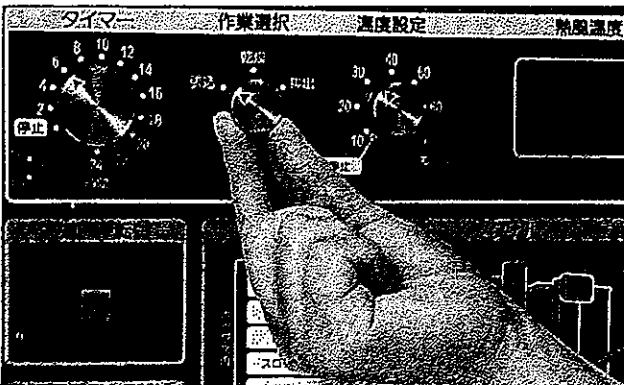
## (1)運転操作

① **タイマー** をまわす。

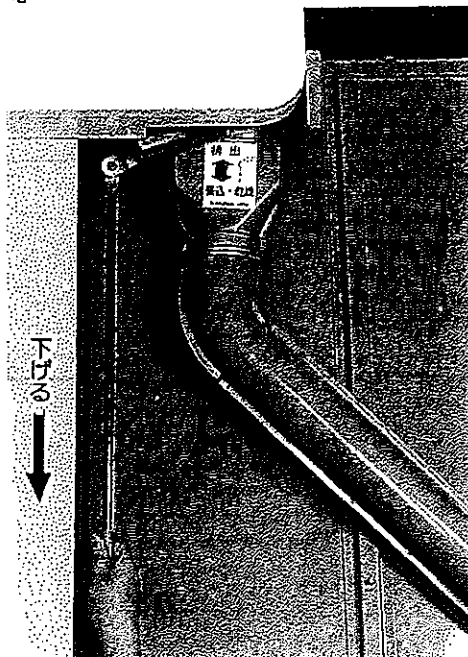
2時間以内の場合は、一度それ以上まわしてから戻してください。



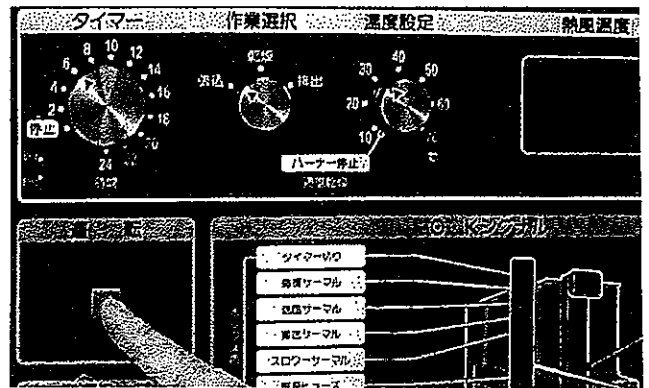
② **張込** にする。



排出レバーが「張込・乾燥」の位置であるか確認してください。

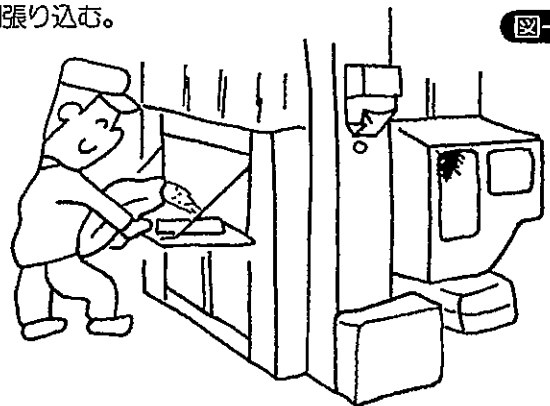


③ **運転** ボタンを押す。



④ 張り込む。

図-7



■張込ホッパーは左、右どちらへも付けることができます。

標準張込量—コンバイン袋数(粍) 表-2

型 式	SDN-16	SDN-18	SDN-20
最少袋数	12(8)	12(8)	12(8)
最高袋数	50	56	61

(コンバイン袋数は1袋約32kgで計算してあります。選別の程度や水分の多い少ないにより10%程度変わります。)

(注)8袋は超最少張込量です。乾燥温度等、注意が必要ですので11ページの温度表の注3に従って乾燥してください。

開えい(紐殻が開いている粍)が多い場合は最少袋数での乾燥は脱ぷが増えますので避け、15袋以上で乾燥してください。

■水分16%以下の麦は満量とせず70%以下の張り込みで乾燥してください。

## (2)確認と注意

■満量になると満量センサーのブザーが鳴りますので張込みを停止してください。

ブザーが鳴っても自動停止はしません。

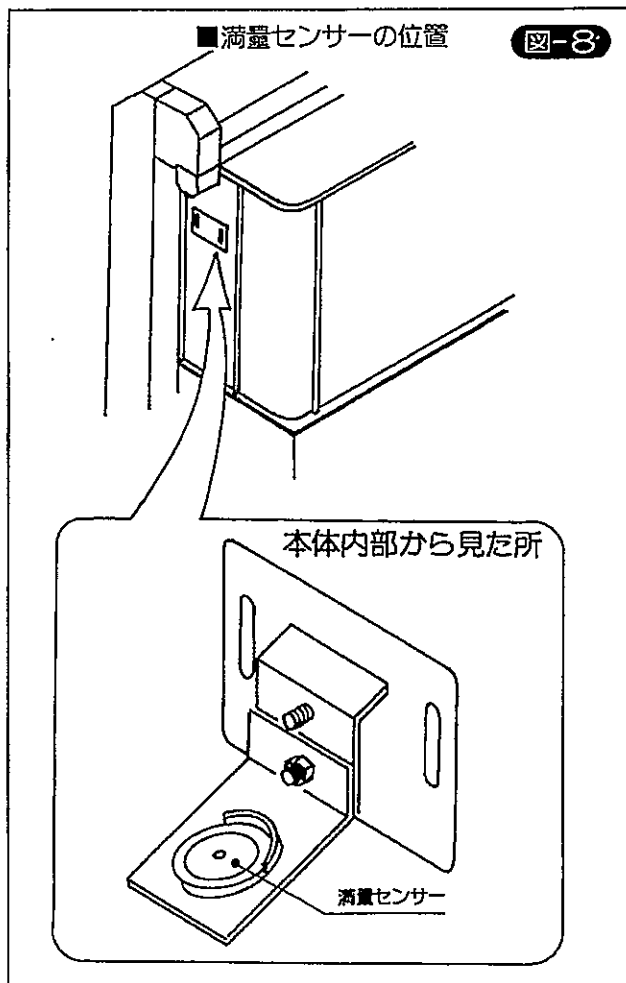
■高水分穀(麦)や選別の悪い穀(麦)の場合は、標準袋数まで入らないことがあります。

■コンバイン袋で1~2袋入りきらなかった場合には、乾燥開始後、量が減ってから追加張り込みしてください。1時間以内ならば乾燥ムラになりません。

注1. 乾燥しながら張込まないでください。

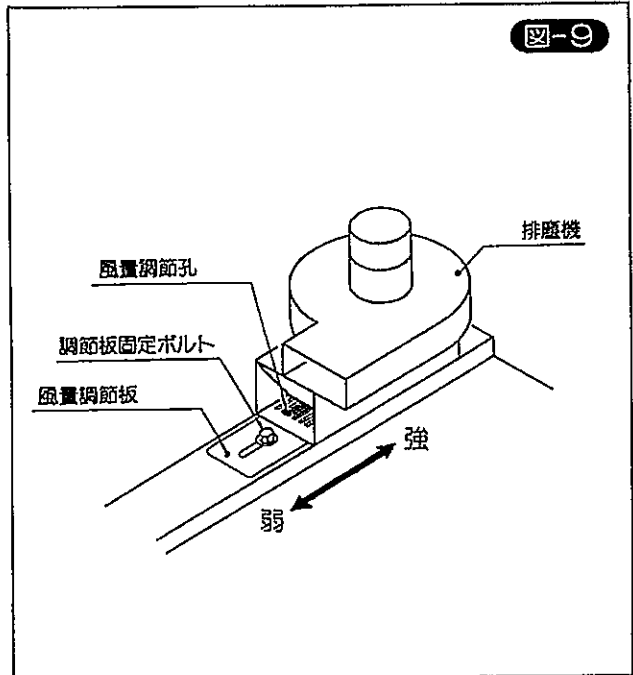
2. 2度目にブザーが鳴ったときは張込み過ぎです。

1~2袋排出してください。



## ■排塵機の風量調節

①排塵の強弱は、風量調節板の位置を変えることで調節できます。

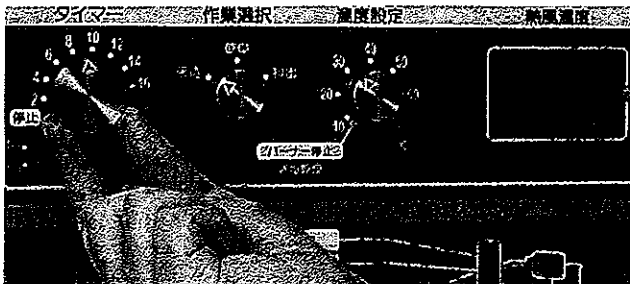


# 5. 乾燥作業

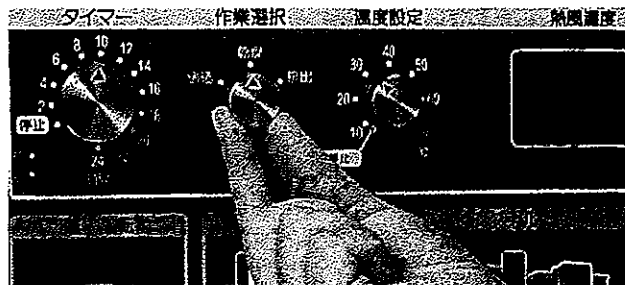
(1) 運転操作 (燃料タンクの灯油の量を確認してください。)

■燃料タンクのコックを「開」にしてください。

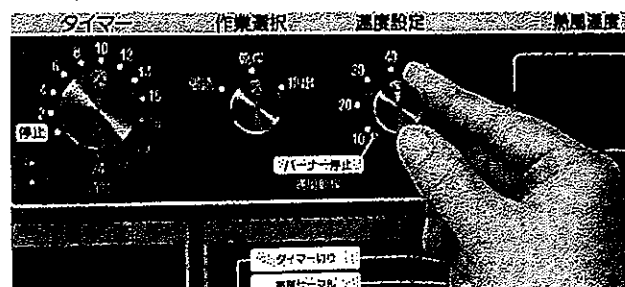
① **タイマー** をまわす。



② **乾燥** にする。

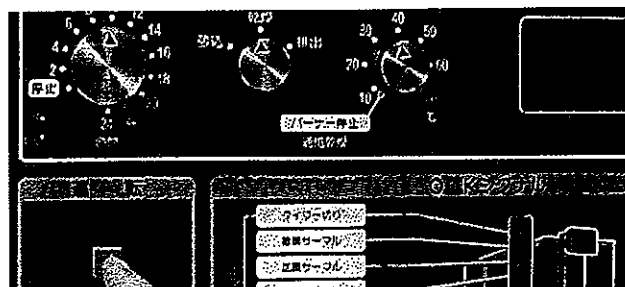


③ **温度** を設定する。



風だけ送るときは、温度設定を **通風乾燥** にする。

④ **運転** ボタンを押す。(約1秒)



## ■タイマー設定時間の計算

乾燥前の水分から目標とする仕上り水分を引き、それを0.8で割ってください。

$$\text{設定時間} = \frac{\text{乾燥前水分} - \text{仕上り水分}}{0.8}$$

(例) 乾燥前の水分が24%、仕上り水分15%の場合

$$\text{設定時間} = \frac{24 - 15}{0.8} = 12.5 \text{ となる。}$$

- 自動水分計コメント-Sを使用する場合は、これより1~2時間ながめに設定してください。
- 追加乾燥時は、1時間当りの乾減率を0.5%位で計算してください。
- 2時間以内に設定する場合は、それ以上まわしてから戻して合わせてください。

(注)

- 温度設定が外気温度より低い場合は点火できません。
- 運転ボタンは熱風温度の表示が出るまで(約1秒)押ししてください。
- 一度で点火しなかった場合はタイマーを停止にし、もう一度①~④を繰り返してください。
- 乾燥運転中は、バーナーが自動的についたり消えたりして温度調節をします。ついていない時間と消えている時間は設定温度によって変わります。
- 乾燥中は、必ず張込ホッパーを閉じてください。開けたまま運転すると、「風圧スイッチ」が作動してブザーが鳴ります。
- 点火不調で点火操作を2~3回繰り返した場合は、バーナーを点検してください。再運転前に、燃焼室内の灯油を必ずふき取ってください。

		SDN=16			SDN=18		SDN=20
コンバイン袋数		3~14袋	14~26袋	26~38袋	38~49袋	49~56袋	56~61袋
周囲温度(℃)	30℃以下	36~41℃	40~45℃	44~49℃	48~52℃	51~54℃	53~56℃
	25℃	33~39	38~43	42~47	46~50	49~52	51~54
	20℃	31~37	36~41	40~45	44~48	47~50	49~52
	15℃	27~35	34~39	38~43	42~46	45~48	47~50
	10℃	24~32	31~37	36~40	39~44	42~46	44~48
	5℃以下	25℃以下	28℃以下	30℃以下	33℃以下	35℃以下	37℃以下

※コンバイン袋は1袋約32kgで計算してあります。  
選別の程度や水分の多い少いにより10%程度変わります。

表-4

注1

●温度表には、幅をもたせてありますので、初回は低めで乾燥し、ようすをみながら徐々に高めて使用してください。極早生、早生種、早期米、過熟米(刈取遅れ)や、脱ぶ米が多量に混入した場合等は胴割しやすいので注意してください。(4~5℃低めとする)

注2

●雨降りや夜間運転の場合は空気が湿っていて乾燥効率が悪くなりますから、外気が直接あたるような場所(軒先等)での乾燥は、温度表より更に2~3℃高めの温度で乾燥してください。ただし、異常乾燥時は除きます。

注3

●超最少処理量8袋の時は上表の8~14袋の列の左側の低い温度で乾燥してください。

胴割れしやすい品種		
アキヒカリ	キヨニシキ	ニホンマサリ
アキユタカ	コチヒビキ	はつかおり
碧風	ササミノリ	フジミノリ
イシカリ	サトホナミ	ホウネンワセ
オオセト	ともゆたか	
カツラワセ	トヨニシキ	など

⑤ コメット-S の設定をする。

(詳細は別冊「自動水分計取扱説明書」をごらんください。)

**操作** 穀物選択ツマミを設定する

↓  
穀物選択は3つに分かれています。  
どれかに正しく設定してください。

**操作** 停止水分(%)ツマミを設定する

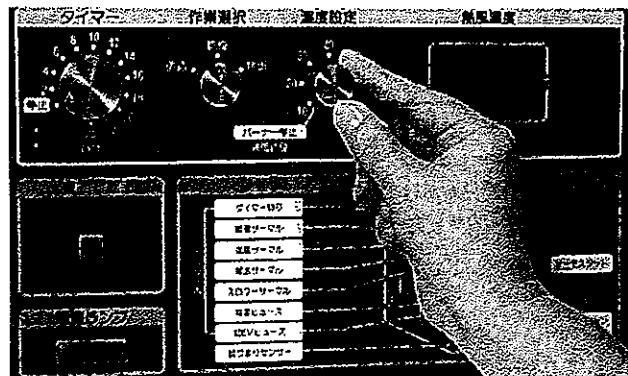
↓  
設定は12.0~16.5%の0.5%きざみです。  
他に2段乾燥用(18%)があります。

**操作** 電源スイッチを入れる

乾燥途中で電源を切らないでください。  
コンピューターの記憶が失われてしまいます。

⑥ 乾燥途中の停止(手動停止)

温度設定を **バーナー停止** にして、2~3分後タイマーを **停止** にする。



●乾燥中は、各点検窓フタ、掃除口は閉じてください。バーナーが異常燃焼して大変危険です。

7]乾燥終了（水分計設定水分(%)又はタイマーが切れると乾燥機は自動的に停止する。)

1 乾燥機のタイマーは？

タイマーで止っていることもありますから必ず確かめてください。  
(タイマーの残り時間を見ておくと、次回のタイマーセットに役立ちます。)

2 水分表示は設定と同じか？

途中で乾燥機のみ停止させると、平均値ではなく、設定水分(%)と同じ値を表示します。  
故障の場合は点滅表示となります。

3 確かに仕上がってますか？

乾燥機の試料取出口などから取った試料を機外測定で確認してください。

籾は必ず付属の籾すり器を使って玄米にして測ってください。

4 コメットーSの電源スイッチを切る

スイッチを切り忘れると次回の乾燥のとき乾燥機の点火ができません。

### ■酒米乾燥

搗精歩留りが問題になりますので、それぞれの地域の指導機関のご指導によって行ってください。

### ■種粳・種麦乾燥

発芽率が特に問題になりますので、それぞれの地域の指導機関のご指導によって行ってください。

## 麦の乾燥

### ■小麦乾燥

小麦乾燥で注意が必要なことは小麦のネバリのもとであるグルテン含有率を下げないようにしなければなりません。60℃以下で乾燥してください。  
ただし、超最少処理量8袋の時は、50℃以下の温度で乾燥してください。

■麦の再乾燥(仕上げ乾燥) 水分16%以下の麦の再乾燥(仕上げ乾燥)を行う場合は 満量とせず70%以下の張込量としてください。

### ■ビール麦乾燥

あまり高温で乾燥すると発芽率、発芽勢が下がります。45℃以下で乾燥してください。  
ただし、超最少処理量8袋の時は、40℃以下の温度で乾燥してください。

水分30%以上で退色等の品質低下を招くおそれのある高水分麦を乾燥する場合は、水分18~23%位までは40℃以下の温度で乾燥してください。

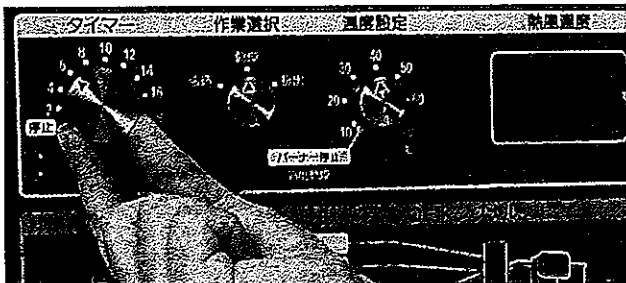
ただし、発育不良等の小麦の場合は、以上の様な乾燥操作をしても品質低下を防止できないことがあります。又、その年により乾燥方法を変える必要が生じる場合もありますので詳細についてはそれぞれの地域の指導機関等にご相談ください。

# 6. 排出作業

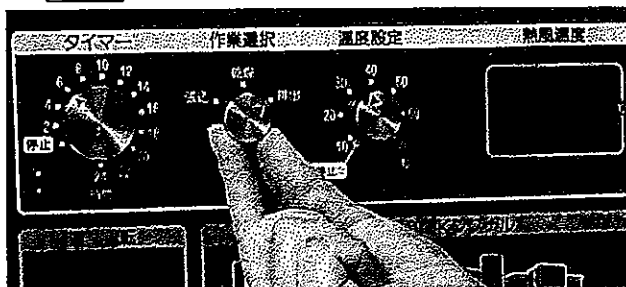
(排出の前には、必ず水分を確認してください。〈籾の場合は玄米で〉)

## (1) 運転操作

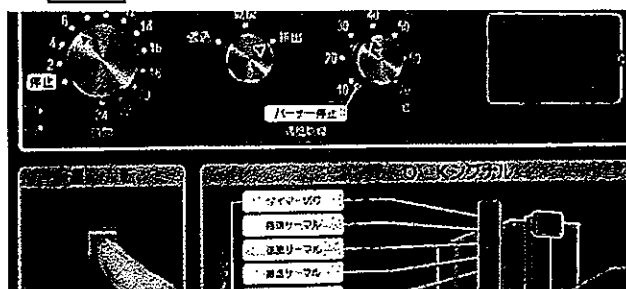
① タイマーをまわす。



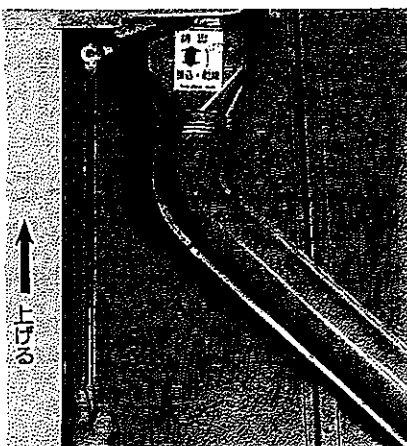
② 排出にする。



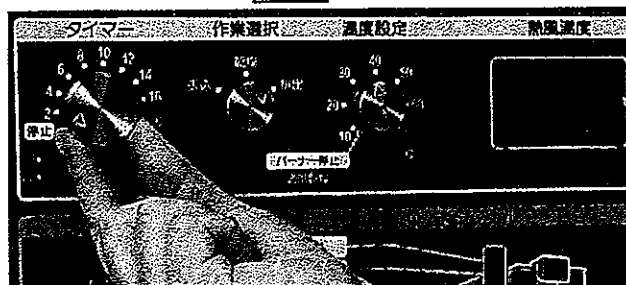
③ 運転 ボタンを押す。



④ 排出レバーを「排出」にする。



⑤ 排出後タイマーを「停止」にする。



⑥ 排出レバーを「張込・乾燥」にする。

■ 排出スロワー使用の場合(排出スロワーは別売)

● 排出スロワーのスイッチは常時「ON」にしておく。

- 乾燥機操作
- ① タイマーをまわす。
  - ② 排出にする。
  - ③ 運転 ボタンを押す。
  - ④ 排出レバーを「排出」にする。

● 途中で止めるときは、先に排出レバーを「張込・乾燥」にし、排出がなくなってから停止してください。

スロワーが詰まると、スロワー用サーマルリレー又はスロワー本体のセーフティカットが作動し、スイッチが切れます。電源を切って掃除をしてください。O・Kシグナルが点灯した時はサーマルリレーが作動しています。

セーフティカットが一度作動すると、すぐにはスイッチが入りません。少し時間がたって(10~15分)から再度スロワー起動スイッチを入れてください。

■ 籾すり機への直接排出

排出パイプの先端を籾すり機のホッパーに差し込み、排出してください。籾すり機のホッパーが一杯になると自動的に乾燥機の内部に戻り、必要な量だけ排出されます。

■ 排出を途中で停止するとき

● 排出レバーを「張込・乾燥」にすると(レバーを下げる)ダンパーが閉じ排出停止となります。このときダンパーの間に穀物をかんでもれることがあります。そのときはダンパーレバーを2~3回上下させて間に入った穀物を取り除いてください。

## (2) 確認と注意

■ 籾すり作業は乾燥終了後1時間以上過ぎてから行ってください。

■ 籾すり前と出荷前の水分確認

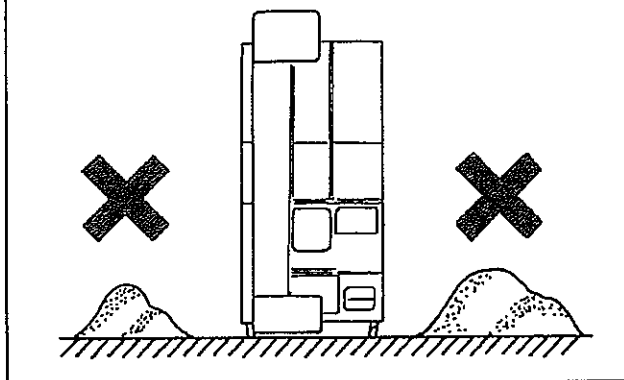
- 乾燥してから籾すりまでの期間が長い場合は、籾すり前に水分の確認をしてください。
- 出荷までの期間が長い場合は、出荷前にもう一度水分の確認をしてください。

特に麦は梅雨期を経たからの出荷となりますので注意してください。

# 7. 火災予防上の注意

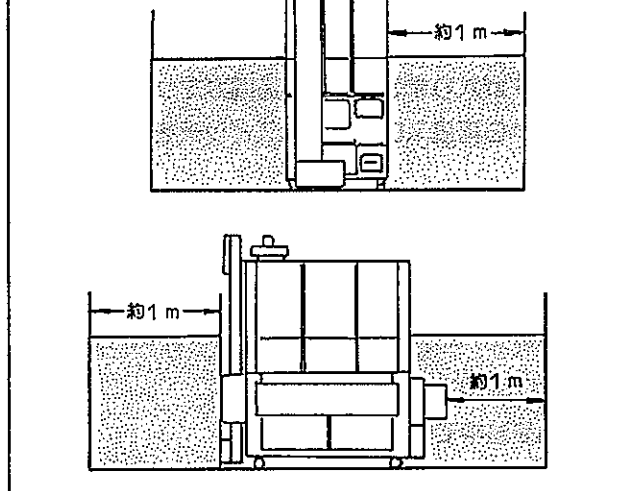
- ① ■燃えやすいものを、乾燥機の近くに置かないでください。

図-10



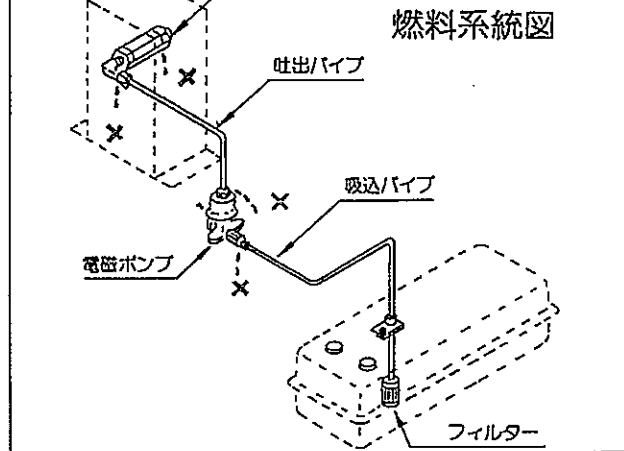
- ② 危険範囲

図-11



- ③ ■吸込・吐出パイプ接続部よりの油もれののないようにしてください。

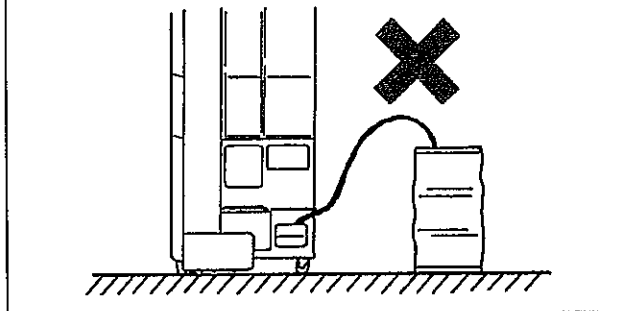
図-12



〈注〉無人運転を避け、ときどき運転状態を確認してください。

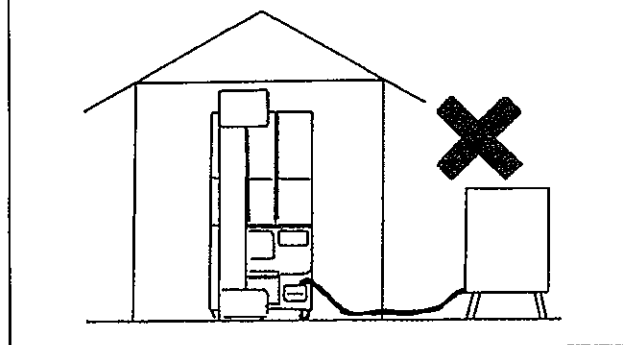
- ④ ■燃料はドラム缶より直接とらないでください。消防法で禁止されています。

図-13



- ⑤ ■標準タンク以外からの直接の配管は絶対にやめてください。ポンプ流量が変わってしまい、燃焼が不安定になります。

図-14



- ⑥ ■燃料は新しい良質の灯油（JIS 1号灯油）を使用してください。昨年の灯油は使用しないでください。

■年1回、乾燥前後に燃焼器の掃除をしてください。燃焼器にカーボン(すす)が付着しますと、着火不良、炎センサー誤動作、失火の原因になります。(掃除方法は21ページ参照)



# 安全チェック

**据付場所**

ほくは  
置たいけど  
この床、耐えらる  
かな？

水厚で、コンクリ  
ートがいいね。

50cm以上  
置します。

50cm

以上

壁

1m

トタンなど  
置えない  
もの。

2層などで  
回転部が  
でているときは  
カバーしてネ

危険

燃焼室  
の  
火  
が  
外  
へ  
出  
て  
く  
ら  
い  
な  
ら  
な  
い  
か  
ら  
ネ

このことば、  
印ります！

ダンボール箱  
など

**点火順序**

点火の順序を  
まちがわぬいで  
正常にもてるか  
確認してネ！

**燃料補給**

燃料補給は  
ホークの火を  
消してから。

**無人運転**

安心できず  
無人にしては  
安全装置になる  
まで必ず  
見て

無人運転は  
いやだネ

安全装置が働かない  
場合

**消火器**

わがやに  
必ず  
消火器を！

乾燥機の  
近くには、  
必ず  
消火器を！

**排気ダクト**

排気ダクトは  
所定の長さで  
使用し、極端に  
曲げないで！

曲り管  
曲げる場合は  
所定の曲り管を  
使用してネ！

ダクトはまっすぐにネ！

**温度上昇**

しりに温度を  
上げようとして  
油を  
出し過ぎないように。  
温度上昇は  
正常かな？

**消火**

手動停止は  
消火後10分間燃焼所を  
覆れる、消火確認  
必ずネ！

消火後  
10分間

**電源コード**

長さや容量に注意  
所要動力に耐えら  
れる

正しいアースも  
必ずつけてネ！

正しいアースも  
必ずつけてネ！

**燃料タンク**

燃料タンクは  
標準装備のもの。  
それ以外は、  
自動給油  
装置を使う。

**燃料タンク**

燃料タンクの  
水抜きは毎シーズンに  
実施、忘れずにネ！

**電気系統**

運転前に  
配電盤  
モーターコード線の接続  
と回線方向及び電圧を  
チェックして電線を  
入れること！

**白灯油**

良質な灯油（JIS 1号灯油）  
だけ使って。  
こぼれたら危険！  
すぐ  
ふきとること！

これはネ  
JIS 1号  
灯油

**事前点検**

シーズン前に  
点検をしてネ。  
有償点検  
がベストだよ！

# 8. 保守と点検



機械を長もちさせるために乾燥が終わりましたら、  
次の様な順序で手入れをしてください。

※その為必ず電源コードをはずしておきましょう!!

## 手入れ箇所と手入れ法

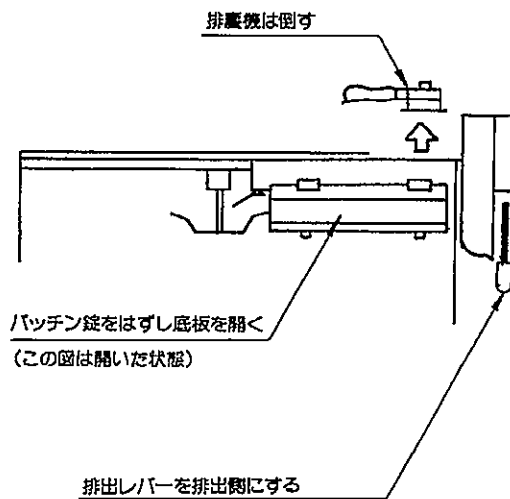
■手入れは乾燥機の上の方から順番に行います。

①

屋根を開けるか、又は、はずして乾燥機内部に入り、排塵機と上部スクリーン装置の掃除をしてください。

排塵機は排塵筒をはずし、ネズミ防止フタを取り付けてください。(ネズミ対策)

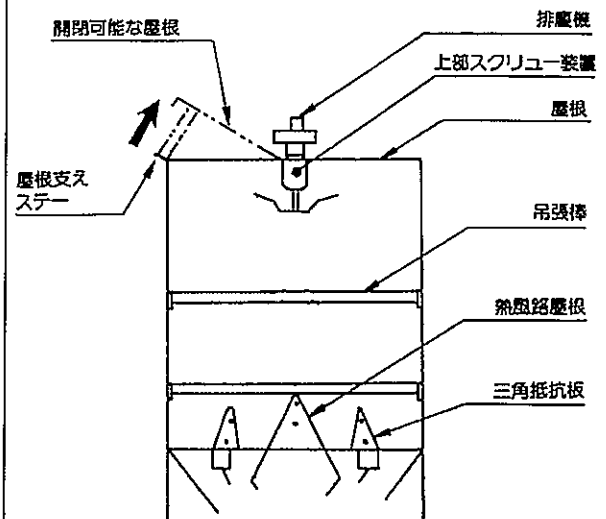
図-15



②

熱風路屋根、三角抵抗板等についているワラく  
ず・穀粒を落としてください。

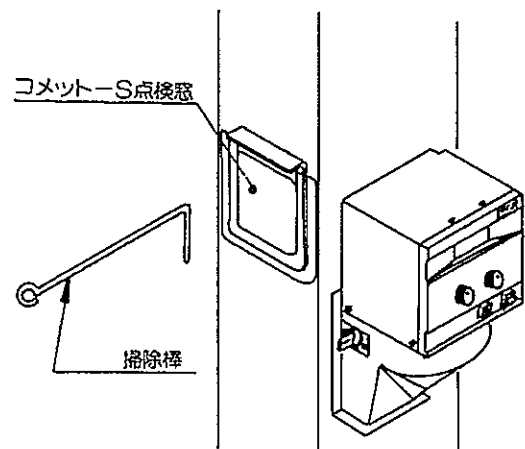
図-16



③

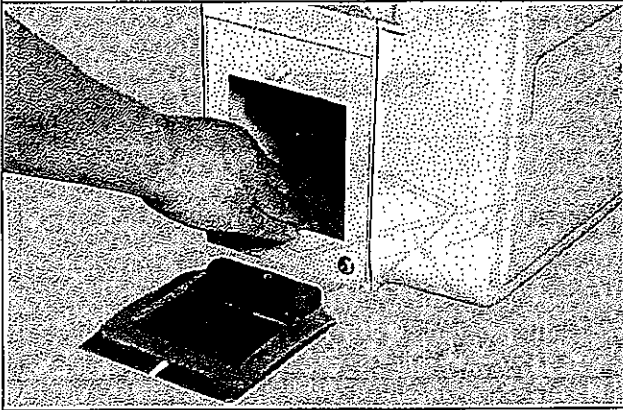
自動水分計コメット-S点検窓内部のシュートを  
付属の掃除棒で掃除してください。

図-17



④

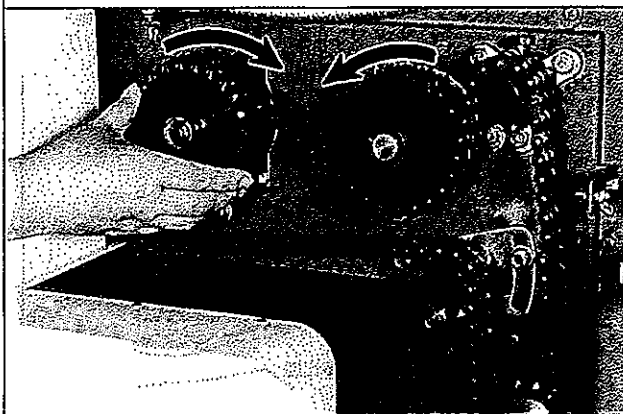
昇降機下部の掃除をしてください。



⑤

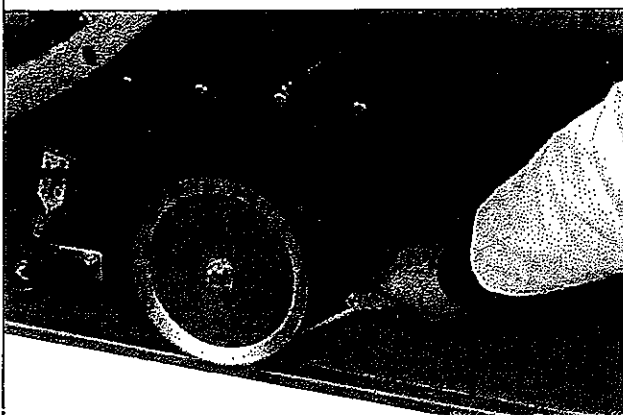
ロータリーバルブを回転方向に手でまわし、バルブ桶内の残穀を落してください。

(注) 指をはさまないようにしてください。



⑥

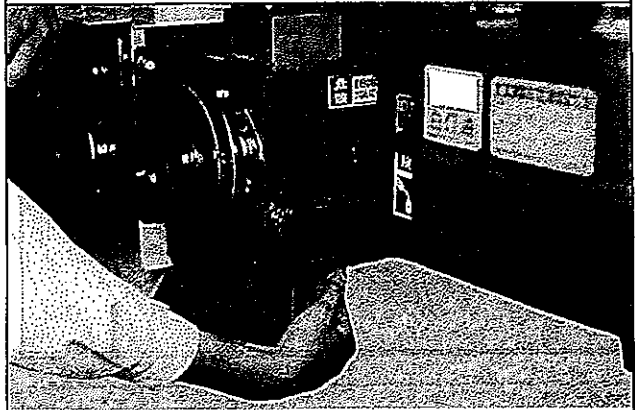
残穀処理レバーの金具をはずし、上下に2~3回動かしてください。



※金具は⑩が終るまではずしておきます。

⑦

流穀筒の止金具をはずし、スクリーン下部の残穀をかき出してください。



⑧

各掃除口を開けたまま、電源を接続し、**排出**の操作をして2~3分運転してください。

⑨

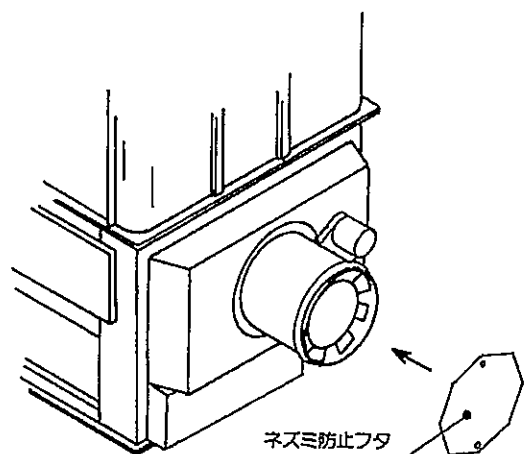
排風ダクトをはずし、ネズミにかじられない別の所へ保管してください。

送風機の掃除をしてください。

送風機にネズミ防止フタを取り付けてください。

(ネズミ対策)

図-18



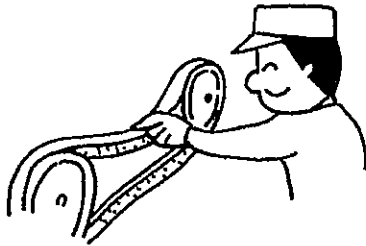
⑩

燃焼器の掃除をしてください。(20ページ参照)  
(年1回程度)

⑪

各部のVベルトはテンションバネをはずしてゆるめておいてください。  
切れそうなベルトは早めに交換してください。

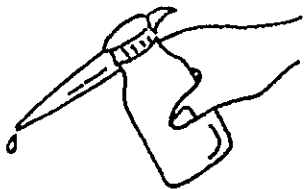
図-19



⑫

チェーンやスプロケットの点検、掃除。軸の部分へ注油をしてください。

図-20

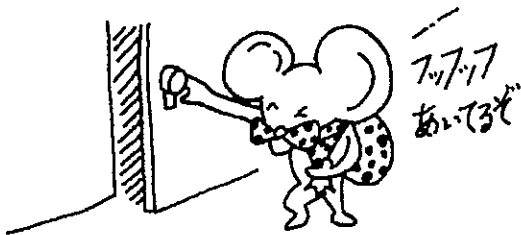


(注)注油が多過ぎてベルトに掛からないように。

⑬

掃除が終わったら、張込ホッパー及び各掃除口は元通りに閉めてください。

図-21

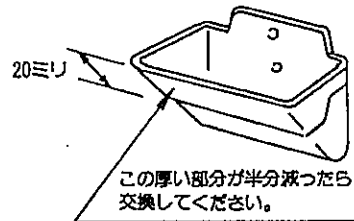


⑭

昇降機/バケットが摩耗すると揚穀量が減り昇降機をつまりの原因となります。摩耗したバケットはベルトと一体で交換してください。

交換の目安

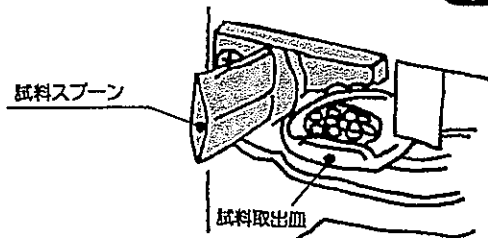
図-22



⑮

自動水分計の試料取出皿が試料スプーンの下に戻っているか確認してください。戻っていない場合は電源を入れて作動して正規の位置(スプーンの下)にしてください。

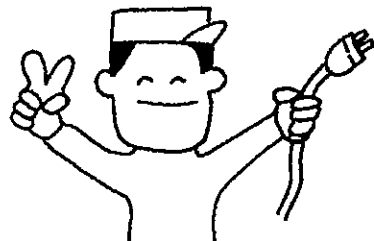
図-23



⑯

電源コードは元からはずしておいてください。電源コードが接続されたままですと、雷などの影響で制御装置が損傷することがあります。

図-24



# 9. シーズン前の運転準備



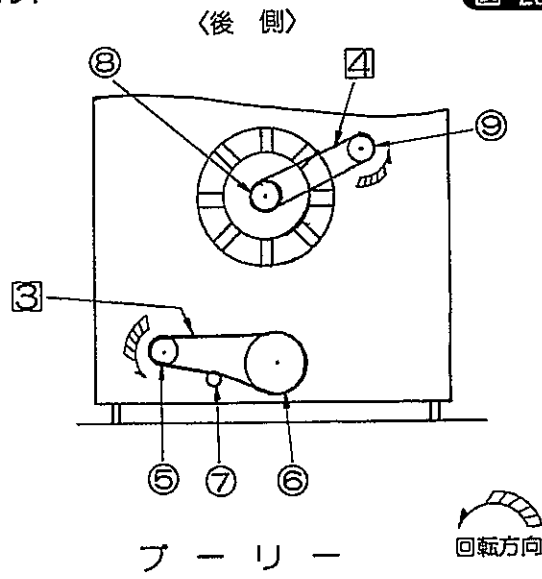
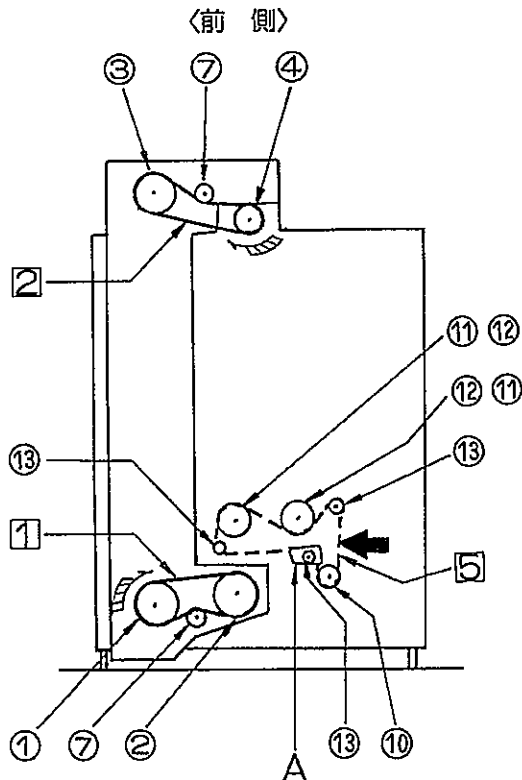
毎年乾燥作業前には必ず点検をしましょう。

## (1) 本機の点検

- ①各部の締め付けと回転部の点検をしてください。
- ②Vベルトの張り具合はスプリングテンション調節板またはテンションプーリーの移動で行います。

プーリーとVベルト

図-25



## Vベルト

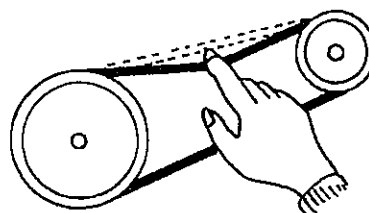
番号	名称	寸法
①	昇降機駆動Vベルト	LA(SA)-41
②	上部スクリュー駆動Vベルト	LA(SA)-41
③	下部スクリュー駆動Vベルト	LA(SA)-41/60Hz " -42/50Hz
④	送風機駆動Vベルト	LA(SA)-36/60Hz " -37/50Hz

番号	名称	寸法	
		50Hz	60Hz
①	昇降機プーリー(下)	φ139 369r.p.m.	
②	下部スクリュープーリー(前)	φ127 398r.p.m.	
③	昇降機プーリー(上)	φ139 369r.p.m.	
④	上部スクリュープーリー	φ98.5 512r.p.m.	
⑤	送風モータープーリー	φ77.5 967r.p.m.	φ64.5 1160r.p.m.
⑥	下部スクリュープーリー(後)	φ185 398r.p.m.	
⑦	テンションプーリー(B)	φ58	
⑧	送風機プーリー	φ82 1700r.p.m.	
⑨	送風機駆動プーリー	φ97 1430r.p.m.	φ82 1730r.p.m.
⑩	バルブ駆動スプロケット	#40 歯数15	
⑪	バルブ軸駆動スプロケット	#40 歯数23 (鉄)	
⑫	バルブ軸スプロケット	#40 歯数23 (樹脂)	
⑬	ガイドスプロケット	#40 歯数11	
⑭	チェーン	60Hz #40×97 W80 25×2	50Hz #40×97 W80 29×2

- ③Vベルトの掛け方、張りを確かめてください。張り具合はVベルトの真中を指で軽く押して10~15mmへこむ程度が適正です。(右図参照)
- ④チェーンの調節は、Aのテンションブラケットで行います。あまり張り過ぎないように上図↑印のところを指で押えて約3mm位へこむ程度です。
- ⑤機体内外の掃除をし、コード類のネズミ害を調べてください。

Vベルトの張り

図-26

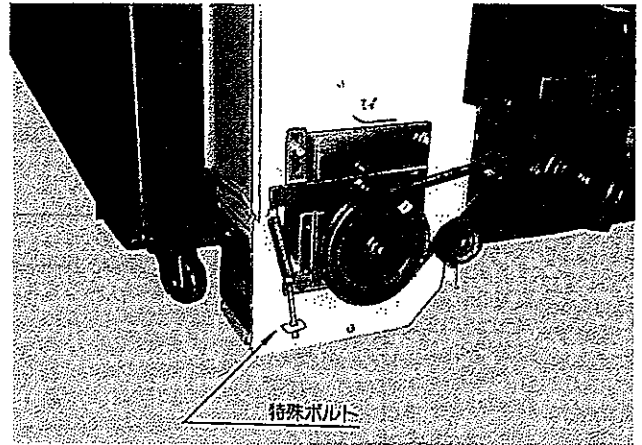


指で押えて10~15mmへこむ程度が適正。

## (2)昇降機の点検

ベルトの張りは、昇降機下部の特殊ボルトの調整で行ってください。

昇降機ベルトはゆるくても強過ぎても音が出ますので、昇降機を回転させながら音の出ない所で固定してください。



## (3)燃焼関係の点検

### ■熱風器の準備と点検

熱風器付近の換気をよくし、常に新鮮な空気が入るようにしてください。ただし外部から風が吹き込むような場合は風よけをしてください。(5ページ) 燃えやすいものなどを近くに置かないようにしてください。(14ページ)

### ■燃料タンクの点検

燃料系統不調の場合はフィルターが目づまりによる場合が多くみられます。フィルターはタンク内にあります。フィルターは消耗部品ですので、つまった場合は交換してください。

#### フィルター(ストレーナー)の点検

- ①バーナー部についている電磁ポンプ吸込側の接続ナットをはずす。
- ②燃料タンク部に固定している六角ボルトをゆるめパイプを引き抜く。
- ③フィルター(ストレーナー)が汚れている場合は、交換してください。  
そのまま引き抜くと、はずれます。

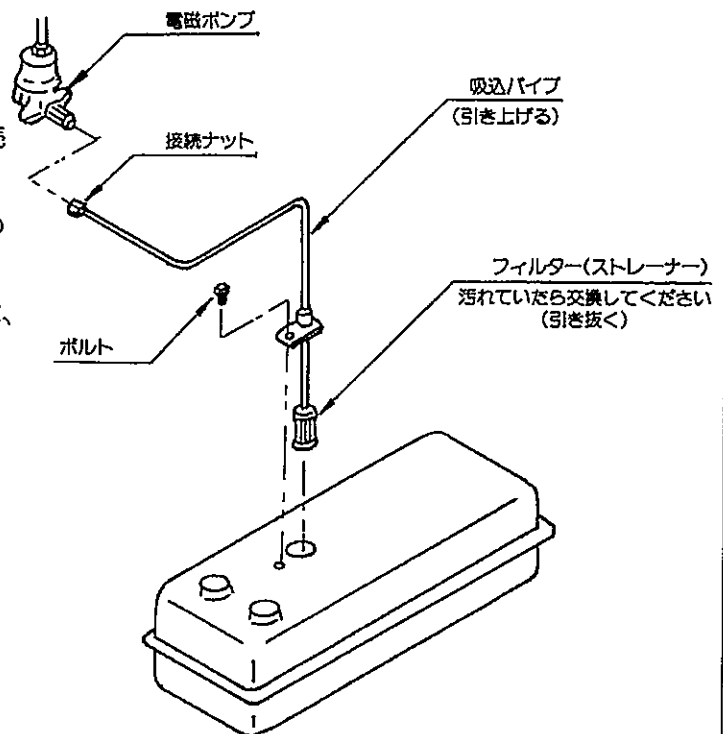
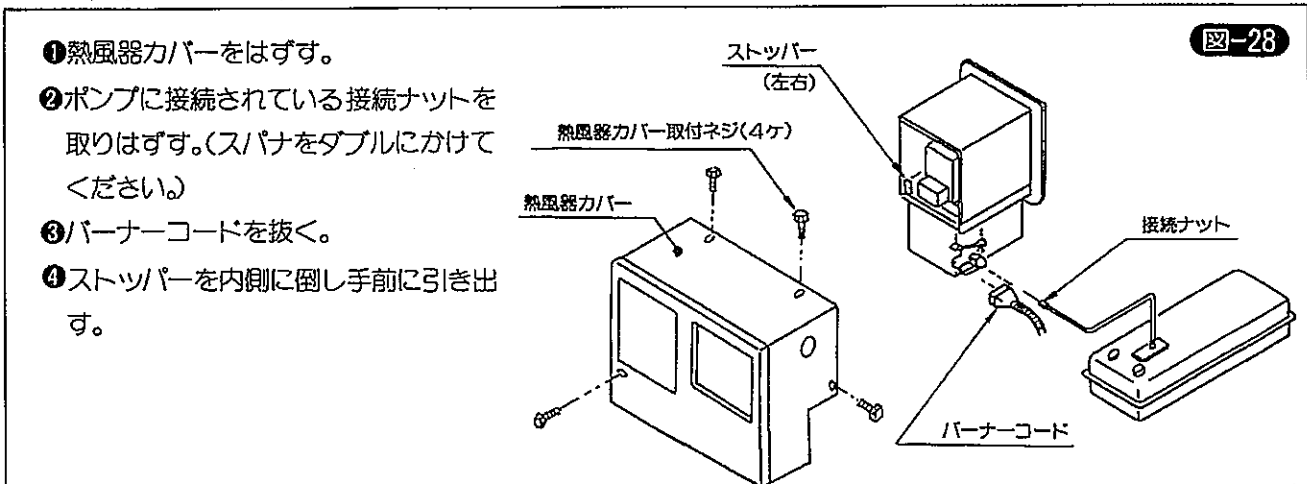


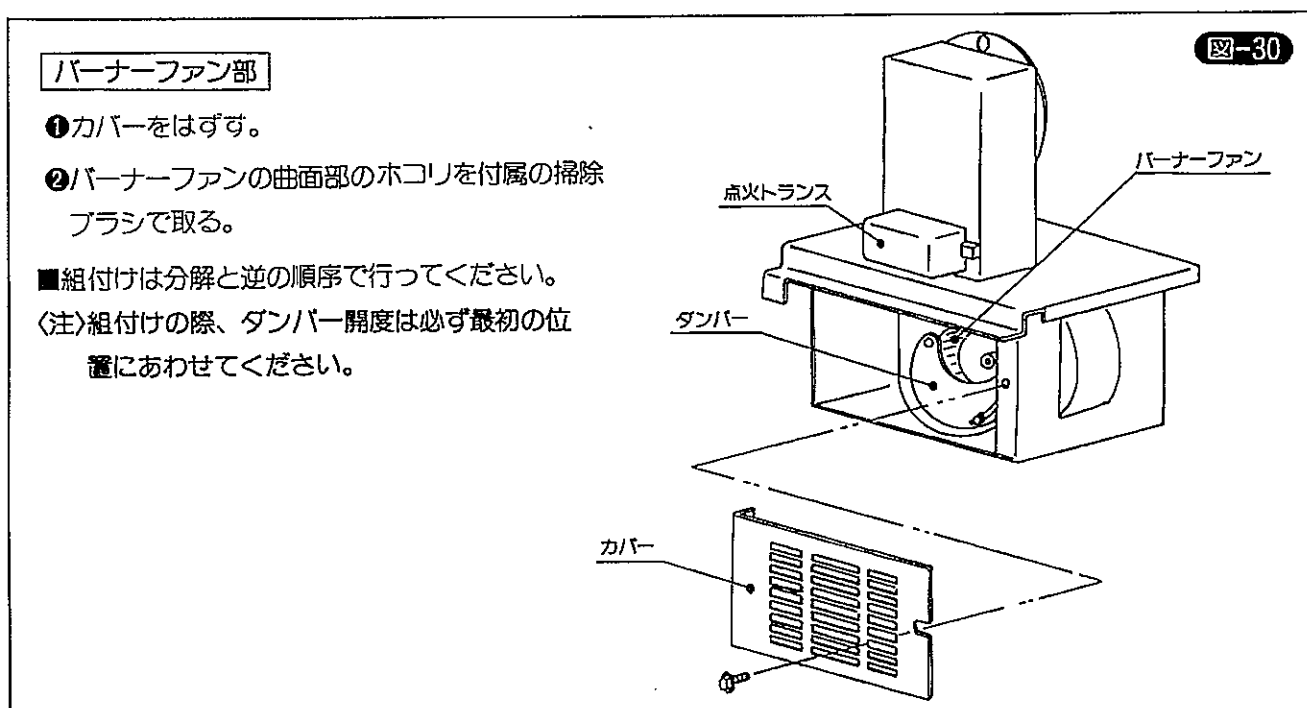
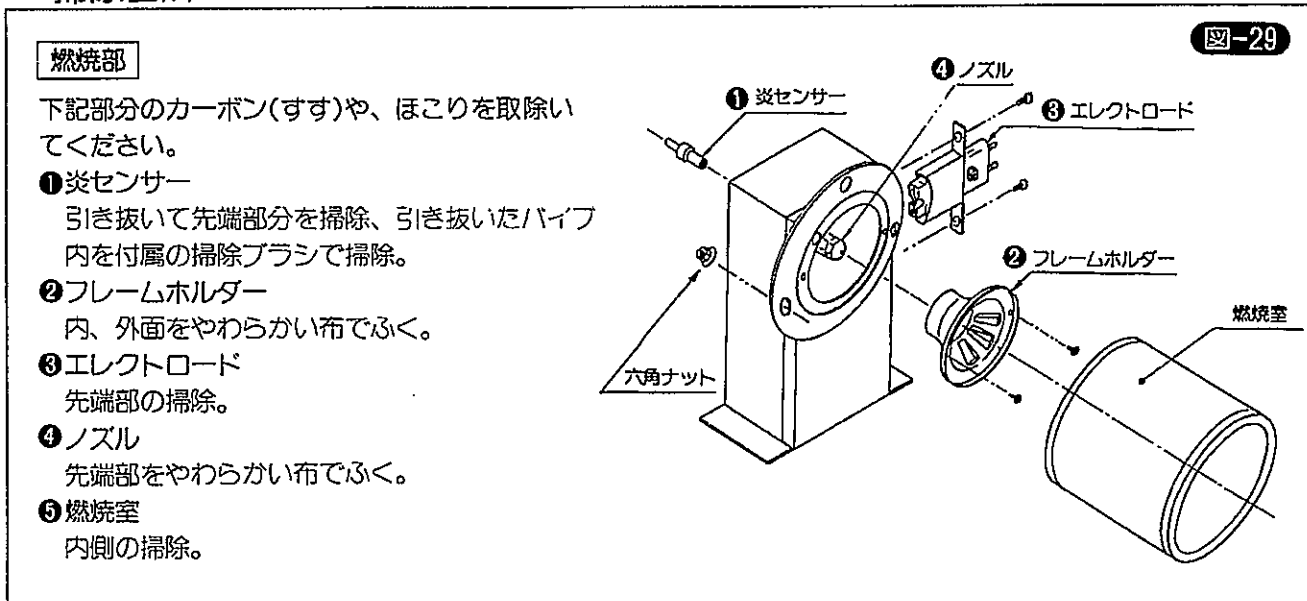
図-27

## (4)バーナーの点検・掃除

### —火炉(バーナー)分解手順—



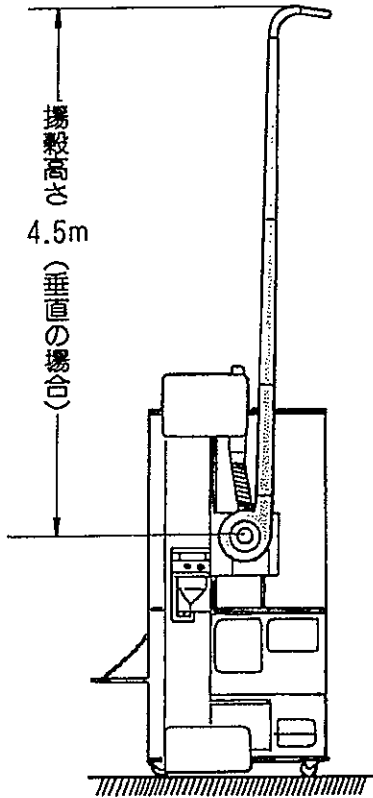
### —掃除箇所—



# 10. 便利な別売部品(オプション)

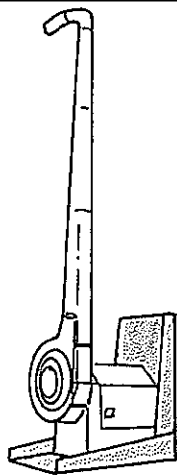
## ■排出スロワー(HH-14A)

乾燥の終了した籾(麦)を遠方の貯蔵庫や2階の貯蔵庫に排出する場合にお使いください。



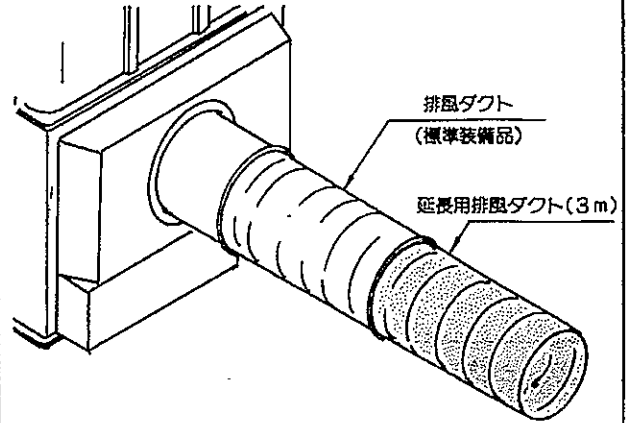
## ■スロワー床置台(UU-14)

地上に排出スロワーを置く場合にお使いください。



## ■延長用排風ダクト

排風ダクトの延長にお使いください。(ダクトはできるだけ曲げないようにしてください。)



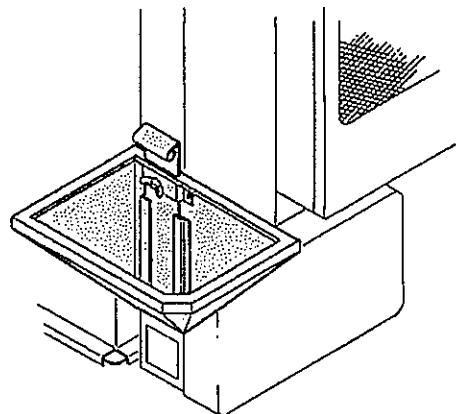
## ■前張込装置(FF-35S)

床上30cmと低いので籾袋を持ち上げずに張り込むことができます。



## ■昇降機ホッパー(YY-03)

昇降機用張込ホッパーです。左・右の張込ホッパーを使わないときにご利用ください。

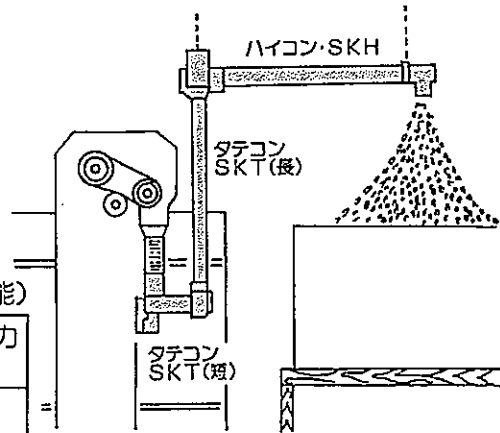




■搬送機(ハイコン・タテコン)

縦にも横にも紐をいためずに送ることができます。  
乾燥機とセットでお使いください。

—設置例—



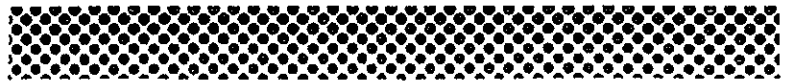
■仕様

(各種の組合せ可能)

型 式		搬送量 (トン/時)	有効長 (m)	傾斜角度 (最大)	所要動力 (KW)
単相 100V	ハイコンSKH	6.0	1.5	35°	0.15
	ハイコンSKH-1			90°	
	ハリコミSKH-R				
	タテコンSKT(長)		0.3	35°	0.1
	タテコンSKW				
	タテコンSKT(短)				
三相 200V	ハイコンSKH	9.0	1.5	35°	0.3
	ハイコンSKH-1				
	ハリコミSKH-R			90°	
	タテコンSKT(長)				
	タテコンSKW				

- SKH-1…取入口、吐出口付
- SKW………SKT(長)+SKT(短)(直結ワンボディ型)
- SKH-R…張込専用型
- 有効長2mのハイコン・ハリコミ・タテコンもあります。

# 11.故障と対策



●サービスマンを呼ぶ前にまずご自分で点検してください。

## ■O・Kシグナルが点灯する場合

O・Kシグナル	原因	対策	ページ
タイマー切り	タイマーで自動停止した。 タイマーを入れてない。	運転の終了で異常ではありません。 タイマーのつまみを右へまわしてください。	P-10①
搬送サーマル (ブザー鳴る)	搬送モーターのサーマルリレー(OL-1)作動。	下部スクリュー、昇降機等のつまり、ワラくず、Vベルトの張りすぎ等を調べて調整し、サーマル復帰レバーを押してください。	P-29 図-31-2・3
循環サーマル (ブザー鳴る)	循環モーターのサーマルリレー(OL-3)作動。	チェーンの張りすぎ、ロータリーバルブの異物かみ込み等を調べて調整し、サーマル復帰レバーを押してください。	P-29 図-31-2・3
送風サーマル (ブザー鳴る)	送風機(吸引)モーターのサーマルリレー(OL-2)作動。	送風機内の異物、ホコリ、ワラくず等を取りのぞき、送風機(吸引)が手で軽く回ることを確認してからサーマル復帰レバーを押してください。	P-29 図-31-2・3
スロワーサーマル (別売) (ブザー鳴る)	スロワーモーターのサーマルリレー(OL-4)作動。	スロワー内の穀物を取りのぞき、スロワーが手で軽く回ることを確認してからサーマル復帰レバーを押してください。	P-29 図-31-2・3
電源ヒューズ (ブザー鳴らず)	電源ヒューズ切断。	電源トランス、サージアブソーバー、コントロール基板、水分計モーター等を点検し不良部品を交換してからF1ヒューズ(3A, 250V)を交換してください。	P-29 図31-4
100Vヒューズ (ブザー鳴らず)	100Vヒューズ切断。	電磁開閉器、電磁ポンプ、タイマー等の各コイルのショートの有無を確認し、不良部品を交換してからF2ヒューズ(2A, 125V)を交換してください。	P-29 図31-4
サーモスタット (ブザー鳴る)	サーモスタット作動。	過熱状態となった原因を調べ、自然放冷してください。	P-29 図31-1
バーナーファン 炎センサー 風圧スイッチ (ブザー鳴る)	圧力スイッチ作動。 電磁ポンプが動かない。	バーナーファンが不良の場合は部品交換してください。	P-21 図-30
	失火。	1.燃料切れを確認してください。 2.点火不調の場合は27ページの“点火しない”の項を参照してください。 3.乾燥途中で火が消える場合は、27ページの“乾燥途中で火が消える”の項を参照してください。	P-27
	風圧スイッチ作動。 (電磁ポンプが動かない)	●モーターの回転が逆ではないか確認してください。 ●張込口・屋根部などが開いていないか確認してください。 ●送風機の回転を確認してください。 (回転していない場合はVベルト切断、コネクタ抜け、コードの断線、モーターの故障などが考えられる) ●送風機にネズミ防止フタがついていないか確認してください。	P-19 図-25
		●排風ダクトが無理に曲げられたり、押えられたりしていないか確認してください。	P-17 図-18
糲づまりセンサー (ブザー鳴る)	糲づまりセンサー作動。	昇降機下部の糲(麦)を取りのぞき、Vベルトの張りを調整し、パケットの摩耗を調べてください。	P-17・18・19

(注)ヒューズ関係のO・Kシグナル点灯の場合、ヒューズホルダーとヒューズの接触不良が考えられます。その場合は、一度、ヒューズをはずし、ホルダー間隔をせまくしてからヒューズを入れなおしてください。コネクタ抜けや断線、接触不良の場合でも、回路はセンサー作動として受けつけますので各部の点検をしてください。

乾燥機のデジタル表示が **H** **L** **HH** となる場合

デジタル表示	ブザー	理由又は状況	確認方法と処理
L の連続	鳴らない	熱風温度が0℃以下になったとき L と表示する。	設定温度を40℃程度に設定して運転してください。5分程度で設定温度になれば正常。 デジタル表示が L 又は H のままのときは熱風温度センサー又は回路基板の故障。
H の連続		熱風温度が71℃以上になったとき H と表示する。	
L の点滅	鳴る	熱風温度センサーが断線状態(200kΩ以上)となり、温度制御ができない。	●熱風温度センサーの故障。 抵抗値をテスターで確認する。 ●回路基板の故障。
H の点滅		熱風温度センサーが、ショート状態(4kΩ以下)となり、温度制御ができない。	
HH の点滅	鳴る	設定温度に対し、5℃以上高い状態が5分間続いたとき、異常高温と判断して、燃料停止となる。	●熱風温度センサーの故障。 抵抗値をテスターで確認する。 ●回路基板の故障。
		設定温度が外気温度より5℃以上低く設定されたとき、異常となり着火しない。	

## 電気・電子部品取扱い上の注意点

- 1.きれいな手で部品を取り扱ってください。水や油、ホコリが付着しますとショート、漏電、接触不良、腐蝕等により部品不良が発生する場合があります。
- 2.部品をていねいに取扱ってください。投げたり落としたりしますと、部品の損傷・破壊につながります。
- 3.コントロールボードを取り扱う際には、直接ICのピンに手でふれないでください。静電気によりICが破壊され思わぬトラブルになることがあります。
- 4.コントロールボードに、みだりにテスター棒を当てないでください。素子によっては、電氣的に破壊されるものもあります。
- 5.制御系のチェックをする場合には、特に必要でない限り電源を切ってください。通電中にコネクタの抜き差しを行いますとトラブルにつながる場合があります。



●乾燥作業で問題になることが発生しても容易に処置できることがあります。

●サービスマンを呼ぶ前にまずご自分で点検してください。

### ■電気・モーターに関すること

故障のようす	原因	対策	ページ・図
感電する。	1.アースがとつてない。 (切れている)	アースをしっかりとつてください。 元電源のアース線を確認してください。	P-4 図-2
	2.誤配線	元電源(柱、壁)の配線を確認してください。	
タイマーを入れても運転ができない。	コメント-Sで停止したままになっている。	コメント-Sのスイッチを一度切ってから運転してください。	P-12 図-4
搬送モーターがまわらない。	1.サーマルリレーが働いている。 (復帰ボタンが出ている)	サーマルリレーの働いた原因を取り除いてから復帰ボタンを押してください。(OL-1)	P-29 図-31-2-3
	2.モーターの欠相運転。	電源ランプを確認。結線および電源ヒューズが切れていないか確認してください。	P-4 (1)-②
	3.モーター不良。	確認のうえ、不良ならば交換してください。	P-29 図-31-1
	4.スイッチの接触不良。	点検後、接触をよくしてください。	P-4 図-3
	5.電圧降下。	電力会社へ連絡してください。 180V以下 使用不能	
	6.緩づまりセンサーが働いている。	働いた原因を取り除いてください。つまった緩(麦)を取り除いてください。	P-17④⑤ P-29 図-31-1
	7.緩づまりセンサーコードが抜けている。又は途中で切れている。	コネクタをしっかりと差し込む、又はコードの損傷を直してください。	
送風機モーターがまわらない。	1.サーマルリレーが働いている。	サーマルリレーの働いた原因を取り除いてから復帰ボタンを押してください。(OL-2)	P-29 図-31-2-3
	2.モーター不良。	確認のうえ、不良ならば交換してください。	P-29 図-31-1
送風機がまわらない。	1.ベルトがゆるんだり、切れている。	Vベルトの張りを点検して調整してください。	P-19 図-25
循環モーターがまわらない。	1.サーマルリレーが働いている。 (復帰ボタンが出ている)	サーマルリレーの働いた原因を取り除いてから復帰ボタンを押してください。(OL-3)	P-29 図-31-2-3
	2.モーター不良。	確認のうえ、不良ならば交換してください。	P-29 図-31-1
スロワーモーターがまわらない。 (オプション)	1.サーマルリレーが働いている。	サーマルリレーの働いた原因を取り除いてから復帰ボタンを押してください。(OL-4)	P-29 図-31-3
	2.モーター不良。	確認のうえ、不良ならば交換してください。	P-29 図-31-1
張り込み中、または乾燥中に昇降機がつまる。	1.昇降機/バケットベルトのゆるみ。	調整してください。	P-20 写真
	2.昇降機駆動ベルトのゆるみ。	調整してください。(LA(SA)-41)	P-19
	3.上部スクリュー駆動ベルトのゆるみ。	調整してください。(LA(SA)-41)	P-19
	4.下部スクリュー駆動Vベルトのゆるみ。	調整してください。(LA(SA)-41/42) ご	P-19
	5.循環中/バルブからの落下量が多すぎる。	ご購入先で点検、調整をしてもらってください。	
	6.バケットがとれている。	とれているところは付け直し、ゆるんだボルト・ナットはしっかりと締めてください。	
	7.バケットが摩耗して揚穀能力が低下している。	バケットとベルトを一体で交換してください。	P-18 図-22

## ■バーナー(熱風器)に関すること

故障のようす	原因	対策	ページ・図
点火しない。	1. 燃料切れ。	燃料タンクを確認してください。	P-5(4)
	2. フィルターのつまり。 継手のゆるみ。	フィルターのつまり、吸込パイプの接続ナットのゆるみ等を確認してください。	P-14・図-12 P-20・図-27
	3. 点火スパークがとんでいない。	点火トランスのコネクターの確認。エレクトロードの掃除および間隔(電極間3.6mm)を点検してください。	P-21 図-29
	4. 点火トランスの不良。	点火トランスを交換してください。	P-21 図-30
	5. 電磁ポンプの不良。	電磁ポンプを交換してください。	P-20 図-27
乾燥途中で火が消える。	1. 燃料切れ。	燃料タンクを確認してください。	P-5(4)
	2. 各部コネクターの接触不良。	各部コネクターがしっかり差し込まれているか確認してください。	P-4 図-3
	3. フィルターのつまり。 継手のゆるみ。	フィルターのつまり、吸込パイプのナットのゆるみ等を確認してください。	P-14 図-12 P-20 図-27
	4. カーボン(すす)付着。	燃焼器、特にノズル先端、フレームホルダー部分、炎センサー採光口付近、パイプの中のカーボン(すす)の掃除をしてください。	P-21
	5. 炎センサーのよごれ。	炎センサーを抜き、先端部分のホコリを掃除してください。	P-21
電磁ポンプが作動しない。 (振動がない) (燃料が流れない)	1. 電磁ポンプの差込プラグの抜け 又は抜けかかり。	コネクターにしっかり差し込んでください。	
	2. ポンプの不良。	ポンプを交換してください。	
	3. 電磁ポンプが新品またはしばらく使用していない時にプランジャーがはりついている。	ポンプを軽くたたいてショックをあたえてください。プランジャーのはりつきが直ることがあります。	
電氣的故障でない場合の電磁ポンプ吸上不良。 (ポンプに手をふれると振動がある)	1. フィルターの目づまり。	フィルターの洗浄又は交換してください。	P-20 図-27
	2. パイプの接続がゆるみ空気がはいる。	接続ナットをしっかりと締め付けてください。	P-14 図-12
	3. パイプ内部に空気がたまっている。	点火動作を数回くり返してください。10ページ、一度で点火しなかった場合の項参照	P-10

## ■乾燥に関すること

故障のようす	原因	対策	ページ・図
乾燥時間が長くなりすぎる。	1. 熱風温度が低すぎる。	地域の一般的な使用温度と比較して低すぎたら高くしてください。	P-11 表-3
	2. 排気が室内に戻り乾燥機に吸引されている。	排風ダクトは確実に屋外に出してください。	P-5・図-4
	3. 夜間湿った空気を吸いすぎている。	湿度の高い夜間運転は早目に打ち切り、翌日仕上げるようにしてください。	P-11 表-3 注2
	4. 送風機(吸引)の回転が落ちている。	駆動ベルトの確認。電圧低下の場合は、電力会社へ連絡。(180V以下使用不能)	P-19 図-25
	5. 乾燥前の水分が高すぎる。	適期刈取りを励行してください。	
	6. 排風ダクトの抵抗が大きく風量が低下している。	排風ダクトを曲げずにピンと張ってください。	P-5 図-4
	7. 水分計部のシュート(昇降機に付いている)が詰まっている。	点検窓から掃除してください。	P-16 図-17

## ■乾燥に関すること

故障のようす	原因	対策	ページ・図
ムラ乾燥になる。	1. 粃の水分が高すぎて乾燥機の内面にはりつく。	少量で乾燥してください。	
	2. ワラくず、ゴミ等が多過ぎ乾燥部が詰まる。	ワラくず、ゴミ等を取り除いてください。(乾燥機内部に入って調べる。)	P-16 図-16
	3. 何らかの原因でバルブがまわらない。	原因を調べて調整してください。異物のがみ込みがないか。(機械内部を調べる。)	P-16・17
	4. 乾燥前の粃(麦)の水分差が大きい。	初期水分に3~5%以上も差があるときは別々に乾燥してください。また、水分の高いものは低いものと同じ水分になるまで乾かしてから一緒にしてください。(二段乾燥使用)	別冊(自動水分計取扱説明書参照)
	5. 枝梗付の粃(麦)が多い。	選別してから張り込んでください。	
	6. 三角抵抗板の組み付け位置がずれている。	二つある孔の内側が標準位置です。	P-16 図-16及び組立のしおり
過乾燥になる。	1. 水分ムラの多い粃(麦)。 2. 未熟粒・青米が多い粃(麦)。	水分差の極端に多いとき(3~5%以上の差)は分けて乾燥してください。	別冊(自動水分計取扱説明書参照)
水分過多になる。	1. 水分ムラの多い粃。	水分差の極端に多いときは分けて乾燥してください。二段乾燥してください。	
	2. 未熟米が多く、乾燥後水分が戻った。	乾燥後の貯蔵を長期間しないてください。二段乾燥してください。	
	3. ワラくず等が多く循環不良を起している。	ワラくず等を取り除いて張り込んでください。	
水分が合わない。	1. 穀物特性による差。	コメント/パックで調べて差が認められたら水分目盛の調整をします。	別冊(自動水分計取扱説明書参照)
	2. 検査の水分計と合っていない。	水分目盛の調整をしてください。	
胸割米 } 碎米 }が多い。	1. 乾燥の前に脱ぶ(皮のむけた米)、半脱ぶが多い。	刈り取り時期と脱穀機の回転に注意し、半脱ぶ米はなるべく低温でゆっくり乾燥してください。	P-11 表-3 注1
	2. 熱風温度が高すぎる。	張込量と熱風温度に注意してください。	P-11・表-3
	3. 乾燥後の処理が悪い。	乾燥終了後急に冷したり、湿気を当てることはさけてください。	
	4. 過乾燥。	乾燥中に時々水分を測定してください。タイマーと自動水分計のセットを間違わないようにしてください。	P-10 ①
	5. 循環不良。	点検し、調整してください。	
	6. スクリュー軸が振れ樋に当たる。	樋がへこんでいないか確かめてください。回転数が正常か、プーリーが規定のものが使用されているか確認してください。	P-19 図-25
	7. 少量の粃を長時間乾燥した。	最少14袋(380kg)以上で乾燥してください。	P-11
	8. 収穫時期が遅れた粃。	ゆっくり乾燥してください。	P-11・注1

# 12.各部の接続と定格

モーターとセンサー類の接続図

図-31-1

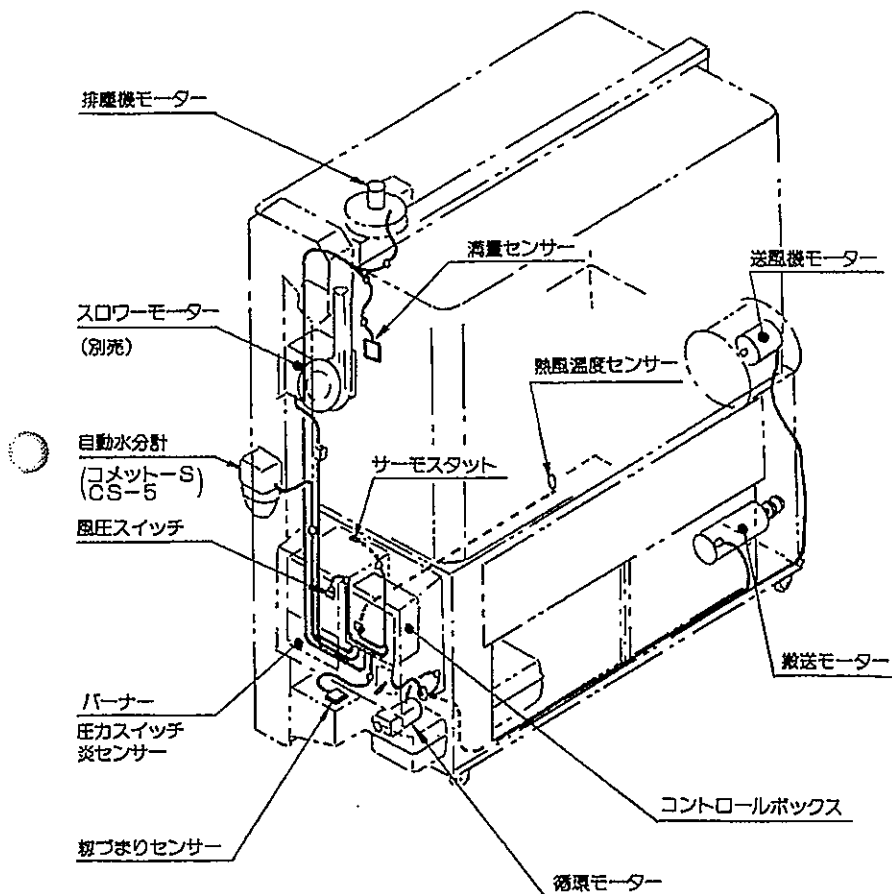


図-31-3

サーマルリレーの電流設定値

記号	モーター名称	設定値	
		単相	三相
OL-1	搬送モーター	8.2A	4.6A
OL-2	送風機モーター	6.5A	4.2A
OL-3	循環モーター	0.9A	0.9A
OL-4	スロワーモーター	6.5A	4.2A

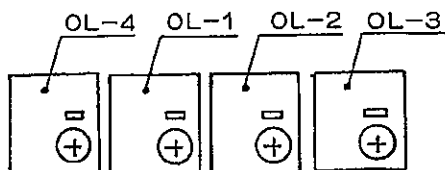


図-31-4

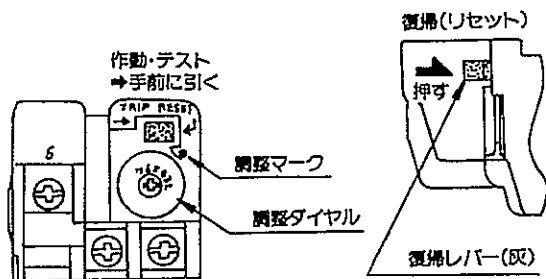
ヒューズ定格

記号	ヒューズ名称	定 格
F1	電源ヒューズ	3A・250V
F2	100Vヒューズ	2A・125V



※サーマルリレーの復帰

図-31-2



※サーマルリレーの復帰、ヒューズの交換は、熱風器カバーをはずして行います。

負 荷 定 格 表-6

負 荷 名 称	定格(kW)	張 込	乾 燥	排 出
搬 送 モ ー タ ー	0.65	○	○	○
送 風 機 モ ー タ ー	0.75	×	○	×
循 環 モ ー タ ー	0.06	×	○	○
排 塵 機 モ ー タ ー	0.06	○	○	○
その他コントロール	0.17	○	○	○
自動水分計 CS-5	0.045	×	□	×
排出スロワーモーター	0.4	×	×	(□)
合 計 (kW)		0.88	1.735	0.94 (1.34)

○：自動運転、×：停止、□：別売部品

注1. 排出スロワーは別売部品です。

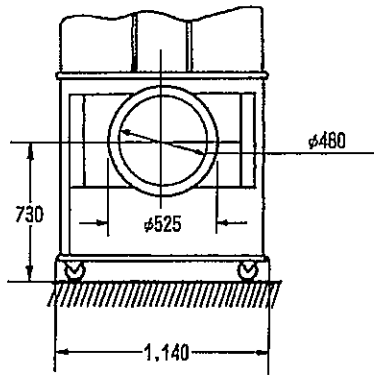
注2. ( )内の数字は排出スロワー使用時。

# 13.据付寸法図

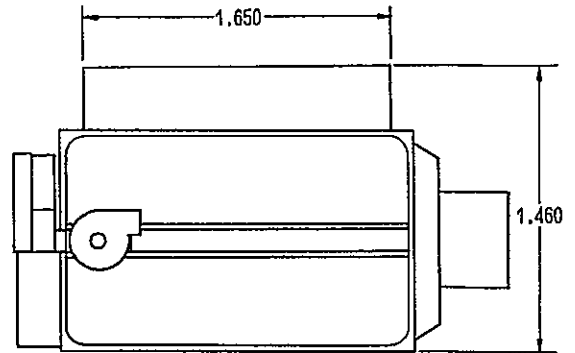
〈注〉据付けは周囲1 m位開けてください。 図-32

単位：mm

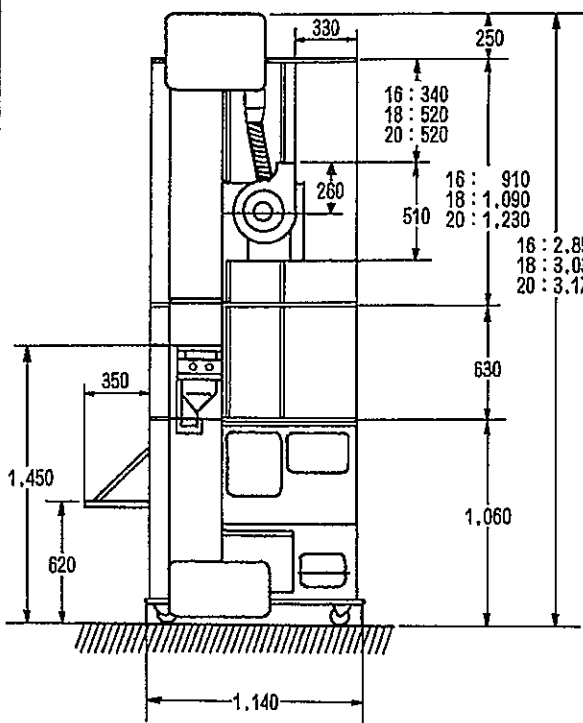
《後から見た所》



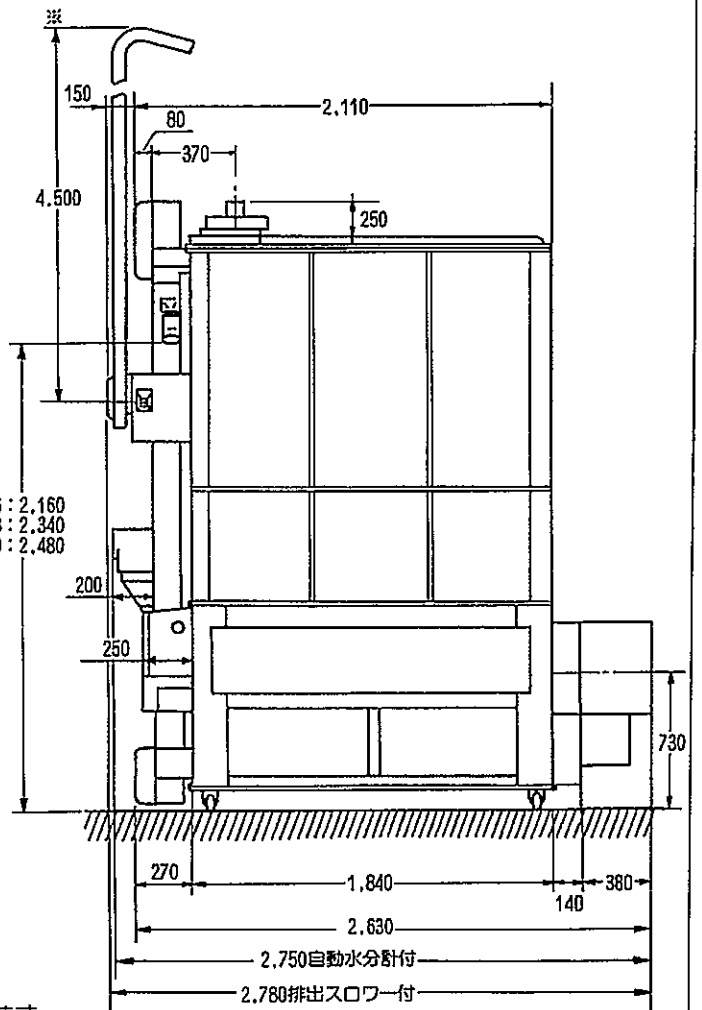
《上から見た所》



《前から見た所》



《横から見た所》



■排出スロワー最高揚程高さスロワーより4.5m(垂直のとき)  
 (注) 排出パイプに傾斜を付けた場合の揚程高さは低くなります。



## 安全に作業をおこなうために

安全に使用していただくために、次のことを必ず守ってください。

### ◆作業をする前に

まず、取扱説明書をよくお読みください。つぎに、機械に巻き込まれないように服装をきちんとしてから点検し、作業にかかってください。

### ◆作業場は

1. 地面はやや厚目のコンクリートなどで固めて、機械の全荷重に長期間十分に耐えられるようにしてください。
2. 火災予防のために、バーナー近くの壁は、防火措置を施し、1 m以上あけてください。周辺には燃えやすいものを置かないでください。
3. 窓や戸を開けて換気をよくしてください。
4. 電源コードにつまづいたりしないように、乾燥機の周囲は整理整頓してください。

### ◆モーターを始動する際は

1. 周囲の安全を確認してください。
2. 安全カバーがはずれていないか確認して、はずれていれば確実に固定してください。

### ◆燃料の給油

燃料は点検前に給油してください。JIS 1号灯油をお使いください。長時間保存された灯油ではなく、新しい灯油をお使いください。

### ◆運転中

1. 張込作業時は、ホッパーの奥へ手を入れないでください。
2. 点火は正しくおこない、正常に燃えているか必ず確かめてください。
3. 機械の運転中は、掃除口や点検窓に手を絶対に入れないでください。

### ◆点検、整備

1. ベルトやプーリーの点検は、必ず電源を切ってからおこなってください。
2. 乾燥作業が終わっても、バーナーは高温になっています。バーナーの点検、整備はバーナーが冷えてからおこなってください。
3. 二人以上で共同作業をするときは、お互いに合図をかわし、安全作業をしてください。

### ◆その他

深夜運転されるときは、隣家へ騒音など迷惑にならないようにご配慮ください。

**SHIZUOKA**

# シズオカ乾燥機 保証書

このたびはシズオカ乾燥機をお買い上げくださりありがとうございます。  
 本機は万全の検査を行い、高品質を確保しております。お客様の  
 正常の使用状態でご利用中、万一不具合が発生した場合は  
 購入日より1年以内につき無料修理をいたします。  
 2. 次のような場合には保証期間内でも有料となります。  
 (イ) 誤ってご使用になった場合、および不具合修理・改装  
 による損傷。  
 (ロ) 落物等による機体上の損傷。  
 (ハ) 火災・地震・風水害などの天災及び公害・異常電圧・  
 指定外の使用電圧(電圧)。  
 (ニ) 保証書のご提示がない場合。  
 (ホ) 保証書の所定事項の未記入あるいは、文字が訂正され  
 た場合。  
 3. 本保証書は日本国内においてのみ有効です。  
 ※修理はお買上げ販売店に必ずこの保証書を提示のうえご  
 依頼ください。  
 ※本保証書は再発行しませんので大切に保  
 存してください。

**静岡製機株式会社** 

住所 -- 電話( ) -

フリガナ

機体番号

型式名  保証期間 平成 年 月 日  
 1ヶ月

販売店名  電話( ) -

■本保証書はお買上げ印字が壊れる場合がございますので、必ず捺印していただきます。

SHIZUOKA SEIKI CO. LTD

## ■修理履歴控

点検や修理の都度記入してください。

月日	内 容	所要時間	実施者名	確認印

## ■有料点検履歴控

月日	内 容	所要時間	実施者名	確認印

## 部品の供給年限について

この製品の補修用部品の供給年限(期間)は、製造打ち切り後12年といたします。

ただし、供給年限内であっても、特殊部品につきましては、納期等についてご相談させていただく場合もあります。

補修用部品の供給は、原則的に上記の供給年限で終了いたしますが、供給年限経過後であっても、部品供給のご要請があった場合には、納期及び価格についてご相談させていただきます。

# フロントパネル操作盤

**タイマー**      **作業選択**      **温度設定**      **熱風温度**

タイマー: 停止, 5Hz, 時間, 2, 4, 6, 8, 10, 12, 14, 16, 18, 20, 22, 24

作業選択: 張り込, 乾燥, 排出

温度設定: パーナー停止, 通風乾燥, 10, 20, 30, 40, 50, 60, 70, °C

熱風温度: 40

**運転**      **電源ランプ**      **0・Kミツナル**

電源ランプ

タイマー切り

循環サーマル

送風サーマル

搬送サーマル

スローサーマル

電源ヒューズ

100Vヒューズ

緩つまりセンサー

電装ボックス内

0・Kミツナル

サーモスタット

パーナー

パーナーファン  
炎センサー  
風圧スイッチ

※この取扱説明書の仕様は、改良のため予告なく変更する事があります。その場合、内容が多少異なることがありますのでご察承ください。